

2026
SYLLABUS
[シラバス]

2

高校2年生

CONTENTS

※本冊子中の「TW」は「Topwin」を表します。

学習の流れ

02 6年間の学習の流れ

04 年間スケジュール

科目別シラバス

08 英語科カリキュラム

10 英語TW/T α

12 英語TW/T β

14 英語SK α

16 英語SK β

18 数学科カリキュラム

20 数学TW α

22 数学TW β

24 数学T α

26 数学T β

28 数学SK α

30 数学SK β

32 数学SK γ

34 国語科カリキュラム

36 国語TW

38 国語T

40 国語SK

42 理科カリキュラム

44 物理TW

46 物理SK

48 化学TW/SK

50 生物TW

52 社会科カリキュラム

54 日本史

56 世界史

58 地理TW

60 受講にあたってのご案内

早稲田アカデミー大学受験部

学習の流れ

- ・ 6年間の学習の流れ
- ・ 年間スケジュール

【6年間の学習の流れ】

(導入:初習 演習:問題演習を交えながら再度学習 入試実戦:過去問演習) ★…一通りの学習が終わる

科目	クラス	中1			中2			中3			高1	
		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2
英語	TWB→TW・T	All English4技能総合 (英検®準2級レベル)			All English4技能総合 (英検®2級～準1級レベル)			高校英文法・4技能導入 (英検®2級～準1級レベル)			★ 高校文法・4技能演習	
	TW→TW・T	中学文法導入 (英検®3級～準2級レベル)			中学文法発展演習 (英検®準2級～2級レベル)							
	S→SK <small>※高3のみ Rを開講</small>	中学文法導入 (英検®4級～3級レベル)			中学文法演習 (英検®3級～準2級レベル)			高校基礎文法・4技能導入 (英検®準2級～2級レベル)			高校文法・4技能導入	
数学	TWBα→TW	中学内容導入			IA導入		II導入			IIIC導入		
	TWBβ→TW						BC導入		★	IAB演習	IIIABC演習	
	TWα	中学内容導入			IA導入		II導入			IIIC導入		
	TWβ <small>※高3のみ γを開講</small>						BC導入		★		IIIABC演習	
	Sα→SK	中学内容導入			中学内容演習		IA導入	II導入		IIBC導入		
	Sβ→SK											
	Tα									IA導入	II導入	
	Tβ										IIBC導入	
	SKα									IA導入	II導入	
	SKβ											
	SKγ										IIBC導入	
	Rα											
	Rβ											
国語	TW	国語教養導入(古文文法・漢文句法導入)						★ 現代思想導入・古文漢文演習			読解演習(現古漢)	
	T										古文文法・漢文句法導入	
	SK <small>※高3のみ Rを開講</small>										大学入試国語導入(古典文法導入)	
物理	TW											
	SK											
化学	TW											
	SK											
生物	TW											
世界史	TW											
	SK											
日本史	TW											
	SK											
地理	TW											

				高2			高3		
				1	2	3	1	2	3
				入試実戦					
★				高校文法・4技能演習			入試実戦		
★				III C演習			III C入試実戦		
				III ABC入試実戦			III ABC入試実戦		
★				III C演習			III C入試実戦		
				III ABC入試実戦			III ABC入試実戦		
★				III ABC演習	III C導入	★	III C演習	III C入試実戦	
				III ABC演習			III ABC入試実戦		
★	III C導入			★	III C演習		III C入試実戦		
★	III ABC演習						III ABC入試実戦		
				★	III C導入	★	III C演習	III C入試実戦	
				III ABC入試実戦			III ABC入試実戦		
★				III ABC演習			→TW/T/SKいずれかのβへ		
							III C導入	★	III C入試実戦
							III ABC演習	III ABC入試実戦	
				入試実戦					
★	読解演習(古漢)			読解演習(現古漢)			入試実戦(TWへ合流)		
★				読解演習(現古漢)			入試実戦		
				力学導入	熱力学導入/波動導入	電磁気学導入	★	全分野演習	入試実戦
				力学導入	熱力学導入/波動導入	電気導入	★	全分野導入・演習	入試実戦
				理論化学導入	無機化学導入	有機化学導入	★	全分野演習	入試実戦
				理論化学導入	無機化学導入	有機化学導入	★	全分野導入・演習	入試実戦
				生物基礎導入	生物導入		★	全分野演習	入試実戦
				導入(全時代)			★	導入(全時代)	★ 演習
				導入(原始～江戸時代=前近代まで)				導入(全時代・テーマ史)	★ 演習
				導入(全範囲)			★	導入(全範囲)	★ 演習

年間スケジュール(高1～高3) ★…クラス選抜試験

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
高1		無料春期講習会		オリエンテーション 保護者会① 定期試験対策	必修テスト① 個別面談①	定期試験対策 ★ 東大への英語・数学・国語 夏期講習会 オリエンテーション TW/Tクラス選抜試験(後期)
高2		オリエンテーション	春期講習会	保護者会① オリエンテーション	必修テスト① 個別面談①	★ 東大水準模試① 夏期講習会 オリエンテーション 東大必勝ジュニア①
高3	オリエンテーション	春期講習会	必勝コース選抜試験(前期)	必勝コース開講 保護者会① 個別面談① オリエンテーション	必修テスト① 必修テスト(マーク)②	★ 東大必勝模試① 夏期講習会 オリエンテーション 早慶難関大必勝模試 夏期集中特訓

※イベントの時期や名称は変更になる場合があります。

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
必修テスト②	定期試験対策 保護者会② オリエンテーション	個別面談② 必修テスト③	定期試験対策 TW/Tクラス選抜試験(前期) ★	冬期講習会 オリエンテーション	個別面談③ 新年度説明会 東大への数学	必修テスト④ 定期試験対策

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
必修テスト②	東大必勝ジュニア② 保護者会② オリエンテーション	個別面談② 必修テスト③ 早慶大必勝ジュニア	東大水準模試② ★ 冬期講習会 オリエンテーション	正月特訓	個別面談③ 新年度説明会	必修テスト④

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
必修テスト③ 必勝コース選抜試験(後期)	東大必勝模試②	必修テスト④ 必修テスト(マーク)⑤ 個別面談② オリエンテーション 保護者会②	個別面談③	東大必勝冬期特訓 冬期講習会 オリエンテーション	私立大学入試 東大必勝テストゼミ 直前特講 大学入学共通テスト	国立大学入試

科目別シラバス

- ・ 英語
- ・ 数学
- ・ 国語
- ・ 理科
- ・ 社会

英語科カリキュラム

中学1年～高校3年

英語科指導方針

TW・Tクラス 授業の進め方

● 英語総合力の完成へ

これまでに培ってきた語彙・文法・英文解釈の知識をもとに、入試に必要な総合力の基盤を高校2年生の1年間で固め、東大をはじめとした最難関大学の問題にも十分対応できるだけの力をつけることを目指します。授業では発展的内容と基礎内容それぞれの学習をみやり、東京大学の問題形式を始め、難関国公立大、私立大の問題を幅広く扱います。その一方で、引き続き語彙や、文法、英文解釈といった基礎事項の徹底を継続します。

● 領域別学習：α

αクラスにおいては、英文解釈の再確認と、多岐に渡る形式を網羅した長文総合問題の演習を扱います。また、英和要約や、長文下部説明などの記述問題の答案作成能力に重点を置き、論説文や説明文、エッセイといった多種多様な文章ごとに、どのようにして記述答案を作成していくかの視座を伝えます。

● 領域別学習：β

βクラスにおいては、英文法の再確認と並行し、英作文の問題演習を扱います。英作文は、整序英作文や和文英訳、エッセイ型の自由記述英作文などあらゆる形式を網羅します。和文英訳では、文法分野別典型表現の習得から日本語への直訳に工夫を要するような問題への解答視座を、自由記述英作文では文章の組み立てや構成といった答案作成のプロセスを学び、この1年で合格答案を書き上げる力を身につけることが目標です。

● 音声学習について

オンライン英会話「Online English Education (OEE)」の受講を推奨します。各英文法単元ごとの重要口頭表現を学び、その後各種英語民間試験のスピーキング領域の対策として口頭でのプレゼンテーション、意見陳述、場面描写を学ぶカリキュラム構成となっています。

SKクラス 授業の進め方

● 英語の実戦運用へ

高校1年生までに学んできた高校英文法の理解と運用をさらに洗練することを目指しつつ、それを基盤に、読解を中心に4技能の実戦運用を訓練します。授業では文法を介して一文を読み書きできるようになることを目指し、基本的な演習を行いながら、高校2年生後半から高校3年生にかけては、実際の大学入試の問題を取り上げながら、文章の読解、英文の記述の実戦演習にシフトしていきます。

● 領域別学習：α

αクラスでは英文解釈と長文総合問題の演習を行います。英文解釈では、STEP0からSTEP3までの4段階難易度別に英文を収録したオリジナルテキストを使用し、英文解釈における各文法分野の留意点をおさえ、ひと通りの構文を学びます。長文読解では、社会論、文化論といった論説文から、エッセイ、随筆まで多種多様な文章に触れ、英文を読む楽しさに触れながら、これまで学んできた英文法の知識と読解を有機的に結びつけていきます。

● 領域別学習：β

βクラスでは英文法知識をさらに洗練させるべく、文中空所補充や整序英作文の演習を扱います。特に句や節の構造にかかわりが大きい文法分野に注力しながら、余すことなく高校英文法分野全てをこの1年で習得することが可能です。

● 音声学習について

オンライン英会話「Online English Education (OEE)」の受講を推奨します。各英文法単元ごとの重要口頭表現を学び、その後各種英語民間試験のスピーキング領域の対策として口頭でのプレゼンテーション、意見陳述、場面描写を学ぶカリキュラム構成となっています。

【6年間の流れ】

TWBooster・TW(選抜クラス)・S(オープンクラス)			
中1～中3	中学英文法を全て網羅し、中3からは高校英文法の基礎を一通り体系的に学びます。また、中3では作文や和訳を取り入れ、日英両語による表現活動を導入します。		
	TWBooster	TW・T	SK
高1	バイリンガルによるオールイングリッシュの授業を通じ、英語を英語で理解し、英語で発信することを目指す、4技能の総合学習講座です。1年間で英検®準1級に相当する力をつけていきます。	語彙や語法といった知識の学習、高校文法の体系学習を1年間で終えます。合わせて、これまで培ってきた基礎語学力を基に、高度な英文の読解と作文による発信を本格的に学んでいきます。	高校文法の体系学習に突入り、中学までの内容を凌駕する高度な表現を学んでいきます。無味乾燥な暗記のみに頼らない、本質的な勉強を進めていきます。
	TW・T		SK
高2	東大をはじめとした最難関大学の合格水準に届く英語力をつけます。英作文はもちろん、東大固有の設問形式に纏わる記述答案作成の力をつけるべく、実際の入試問題の演習を多く積みみます。秋の東大模試で合格点に届く力をつけていきます。		語彙や文法といった知識の基盤をかため、本格的に読解や作文といった演習に力を入れ、解答能力の向上を目指します。大学入学共通テストレベルの英語問題にも対応できる力をつけていきます。
高3	各クラスが目標とする最難関大学の入試問題を演習形式で対策していきます。合格点に到達することは無論のこと、英語の得点で他科目を補うアドバンテージを生み出せるまで力をつけていきます。TWクラスでは記述答案作成力を更に洗練すべく、添削指導を実施いたします。		

【ノート】

授業に参加するにあたり、以下の2つのノートをご用意ください。

① 授業内講義演習ノート

テキストへの解答の書き込みは授業内外を問わず禁止です。講師の板書のみならず、口頭で説明した内容も含め、学んだことを貪欲に書き込んでください。

② 宿題演習ノート

宿題演習用のノートを別に用意して下さい。演習問題の解答だけを書き込むのではなく、間違えた問題の「問題文」と「解答」、「正解の根拠」をまとめましょう。単語の書き取りの練習もこのノートに行ってください。

【音声教材】

英語の音声学習用の教材には以下のものがあります。

① オンライン英会話「Online English Education (OEE)」

月3回のオンライン英会話です。早稲田アカデミーOnlineからOEEのユーザートップページにアクセス可能です。

② 英単語ターゲット1900用音源

スマートフォン、タブレットに対応した音声学習用アプリケーションです。旺文社のHP (<https://www.obunsha.co.jp>) よりインストール可能です。

③ 英熟語ターゲット1000用音源

スマートフォン、タブレットに対応した音声学習用アプリケーションです。旺文社のHP (<https://www.obunsha.co.jp>) よりインストール可能です。

【宿題の量】

学年・クラスにより多少は変動しますが、概ね以下のような分量の課題を出します。

① 通常期に関しては授業の復習平均2時間・各種テスト準備平均1時間/週×通常授業30回=90時間程度

② 長期休暇期間に関しては、春休み、GW、夏休み、冬休みで合計60時間程度

①+②で年間150時間程度の課題を出します。

また①②において「間違い箇所が多い場合」は必然的に「やり直しにかかる時間」が増えます。

添削が授業時に行われる場合は、添削が返却されてから、書き直しを実施してください。見て、読んで、おしまい、にすることなく、必ず手を動かすようにしてください。

【テスト(高2)】

東大水準模試	7月、12月に実施します。TW/Tクラス選抜試験を兼ねます。TW/Tクラスの受講にはこの試験に合格することが必要です。合格者は科目ごとに選出されますので、単科での受講も可能です。またこの試験を当日3科目受験し、優秀な成績を収めた方は「特待生」の資格が得られます。													
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
必修テスト	記述型全国模試を6月、9月、11月、2月の年4回受験します。単元学習を離れた実力テストで普段の学習がどの程度定着しているかを判断することができます。													
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
月例テスト	5月より指定月の初回授業冒頭20分間で月例テストを行います。出題は前月学習した長文・精読テキスト内容からなされます。合格点は80点が目安です。													
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
単語テスト(α)	語彙力(英単語)を測定するテストです。TW/Tαはさまざまな形式で、SKαは「英→和」「和→英」の形式で25問、各月の2回目と3回目の授業で実施します。英語力の基盤の勉強ですので、毎日時間を取りましょう。90点以上が合格点です。													
	熟語テスト(β)	語彙力(英熟語)を測定するテストです。英文中選択空所補充の形式で25問、各月の2回目と3回目の授業で実施します。重要度は英単語と変わりません。90点以上が合格点です。												
文法確認テスト(SKβ)		文法事項、英文表現の定着を測定するテストです。各月の2回目と3回目の授業で実施します。翌授業までに複数日、演習する時間を確保しましょう。80点以上が合格点です。												

高2英語TW/Tα(読解)

選抜

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。
※受講にはTW/Tαクラス選抜試験(東大水準模試)への合格が必要です

講座の目的

英語で執筆されたあらゆる文章を、ジャンルや時代背景、執筆者や文体などの違いを超えて、正しく、かつ、スピーディーに読む力を身につけます。また、読み取った内容について主体的に思索する力、そして、思考を通じて導き出した理解や意見を、説得力をもって記述する力の養成を目指します。読解に関しては、日本語を介在させない英語情報処理力を徹底的に高め、解答作成に関しては、国内の大学受験に必要な日本語による表現力にも磨きをかけていきます。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 高2英語 TW/Tα長文(前期・後期)

語彙、通読①(記号選択式)、通読②(記述式)の3つのセクションからなる英文読解のためのテキスト。語彙は英検[®]準1級から1級レベルのものを扱い、通読は記号選択式から大意・要旨要約に至る多様な設問形式を通して、あらゆる文体とジャンルの英文を扱います。原則として通読①は予習→授業内で解説、通読②は授業内演習→授業内で解説となります。

■ 高2英語 TW/T/SKα精読(前期・後期)

複雑な構造が駆使された抽象度の高い英文を日本語に翻訳し、英語の構造把握力と文脈予測力を高めるためのテキスト。英文の構造把握にとって最重要のポイントごとにまとめられ、Step1からStep3まで、難度を高めながら取り組めるよう構成されています。

使用法

予習: 精読のテキストは、あらかじめ講師による指定のあった英文に取り組んでおいてください。長文は、記号選択式の通読①を予習してきてください。なるべく短時間で一度読み通し(この段階で不明な語句は読み飛ばします)、二度目に比較的ゆっくりと読みながら(この段階で辞書を参照しても構いません)、付随する設問の答案を用意してください。長文を読み通す際はその都度日本語に置き換えるのではなく、前後の関係を確認しながら、文意を推測することを心掛けてください。精読では、英文の構造を解析し、語義のあいまいな語句を辞書(英英辞典を推奨)で調べたのち、文脈を踏まえた自然な日本語文に訳出してください。最初から日本語に置き換えようとすると、かえって訳文は不自然となります。まずは、英語のまま理解することに努め、その理解を日本語に移し変えることを心掛けてください。

授業: 予習の指定をした英文の解説のほかに、別の英文についても授業中に演習し、解説を行います。

復習: 受講して初めて知った情報や、逆に不明点として浮上した論点について、辞書や文法書などを使って理解を深め、整理します。それでも理解できないものは、担当講師やアシスタスタフに質問してください。新出の語彙をノートにまとめるなどの工夫をしてもよいでしょう。

■ 英単語ターゲット1900

大学受験で有用性の高い必要最低限の語彙をコーパス分析によって抽出し、フレーズ単位で効果的に理解させるよう工夫が凝らされた単語帳です。毎週決められた範囲について、確認テストを実施します。なお、月例テストでは前月の単語テスト範囲から語い問題を10問程度出題します。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 英単語ターゲット1900の指定範囲英単語の練習(1日15分/毎日)

毎週100語指定された範囲の英単語を覚え(11月③以降は範囲が広くなります)。翌週に空所補充形式や語形変化などを組み合わせた確認テストを合計25題出題します。90点合格で、不合格の場合は追課題もしくは翌授業後の追試を指示します。

② テキスト「高2英語TW/Tα長文」の指定範囲の演習(1日15分/2日に1回)

指定範囲の演習を宿題ノートにします。演習後は巻末解答を見ながら丸付けをし、間違えた問題を解きなおしてください。

③ テキスト「高2英語TW/T/SKα精読」の指定範囲の演習(1日15分/2日に1回)

指定範囲の演習を宿題ノートにします。演習後は巻末解答を見ながら丸付けをし、間違えた問題を解きなおしてください。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
単語 テスト 5分	諸伝達 5分	演習・解説【精読】 40分	演習・解説【長文読解】 55分	Vocabulary 15分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	長文	精読	単語テスト
3月	①	語彙①、論理の利用、英和要約	SVの発見①	-
	②	語彙②、論理の利用、下線説明	SVの発見②	1-100
	③	語彙③、論理の利用、英和要約	SVの発見③	101-200
春期	①	話題別語彙①(自然)、文体①(説明)	型と意味①(動詞型①)	-
	②	話題別語彙②(人文)、文体②(論説)	型と意味②(動詞型②)	-
	③	話題別語彙③(社会)、文体③(随筆)	型と意味③(動詞型③)	-
	④	話題別語彙④(日常)、文体④(小説)	型と意味④(動詞型④)	-
4月	①	語彙④、短文挿入、英和要約	主語の諸相①	1-200
	②	語彙⑤、内容一致、因果説明	主語の諸相②	201-300
	③	語彙⑥、題目選択、英和要約	主語の諸相③	301-400
5月	①	語彙⑦、空所補充、英和要約	無生物主語の訳出	月例テスト
	②	語彙⑧、下線語彙、下線説明	補語の諸相①	401-500
	③	語彙⑨、段落整理、英和要約	補語の諸相②・③	501-600
6月	①	語彙⑩、短文挿入、英和要約	補語の諸相④・⑤	月例テスト
	②	語彙⑪、内容一致、因果説明	補語の諸相⑥・⑦	601-700
	③	語彙⑫、題目選択、英和要約	非定形動詞①	701-800
7月	①	語彙⑬、空所補充、英和要約	非定形動詞②	月例テスト
	②	語彙⑭、下線語彙、下線説明	非定形動詞③	801-900
	③	語彙⑮、段落整理、英和要約	非定形動詞④	901-1000
夏期	①	話題別語彙①(自然)、文体①(論説)	論点整理①(ネクサス構造①)	-
	②	話題別語彙②(人文)、文体②(随筆)	論点整理②(ネクサス構造②)	-
	③	話題別語彙③(社会)、文体③(小説)	論点整理③(ネクサス構造③)	-
9月	①	語彙⑯、短文挿入、英和要約	接続詞の諸相①	1-1000
	②	語彙⑰、内容一致、因果説明	接続詞の諸相②	1001-1100
	③	語彙⑱、題目選択、英和要約	関係詞の諸相①	1101-1200
10月	①	語彙⑲、空所補充、英和要約	関係詞の諸相②	月例テスト
	②	語彙⑳、下線語彙、下線説明	関係詞の諸相③	1201-1300
	③	語彙㉑、段落整理、英和要約	関係詞の諸相④	1301-1400
11月	①	語彙㉒、短文挿入、英和要約	反復、並行、省略の諸相①	月例テスト
	②	語彙㉓、内容一致、因果説明	反復、並行、省略の諸相②	1401-1500
	③	語彙㉔、題目選択、英和要約	原級比較	1-300
12月	①	語彙㉕、空所補充、英和要約	比較級	月例テスト
	②	語彙㉖、下線語彙、下線説明	最上級相当表現	301-500
	③	語彙㉗、段落整理、英和要約	注意を要する最上級表現	501-700
冬期	①	話題別語彙①(自然)、入試研究①(東大京大)	文法から文脈へ①	-
	②	話題別語彙②(人文)、入試研究②(国立医系)	文法から文脈へ②	-
	③	話題別語彙③(社会)、入試研究③(早慶上智)	文法から文脈へ③	-
	④	話題別語彙④(日常)、入試研究④(検定試験)	文法から文脈へ④	-
1月	①	語彙㉘、短文挿入、英和要約	意味上の主語①	1001-1500
	②	語彙㉙、内容一致、因果説明	意味上の主語②	701-900
	③	語彙㉚、題目選択、英和要約	意味上の主語③	901-1100
2月	①	語彙㉛、空所補充、英和要約	文の要素の移動①	月例テスト
	②	語彙㉜、下線語彙、下線説明	文の要素の移動②	1101-1300
	③	語彙㉝、段落整理、英和要約	文の要素の移動③	1301-1500

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。単語テストの範囲は変更になる可能性があります。

高2英語TW/Tβ(文法・作文) 選抜

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。
※受講にはTW/Tβクラス選抜試験(東大水準模試)への合格が必要です

講座の目的

英語による情報発信力を、特に「書く」というポイントから高めることを目指します。また、正確な英文執筆に必要な不可欠である文法〔英文の構造・概念のルール〕と語法〔個々の語の運用ルール〕についても、ただ問題を解くための道具としてではなく、「どうすれば自然な英語表現に活用できるか」という実用的な観点からブラッシュ・アップを図ります。英作文では、入試問題のために書かれたようなぎこちない日本語を英訳するのではなく、翻訳を拒むようなこねた日本語を解析しながら英訳する練習に取り組みます。さらに、エッセイ・ライティング(いわゆる自由英作文)にも取り組み、論理的思考を磨きながら世界の諸問題についても思索を深めます。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 高2英語 TW/TβWritten Expression(前期・後期)

本講座メインテキスト。文法、作文の2セクションに分かれています。文法セクションでは、単純な択一問題だけでなく、正誤判定や整序英作文などに取り組みことで主体的な英文解析を実施。英語表現のための実用性を高める道具としての文法力を養成します。作文セクションは、和文英訳とエッセイ・ライティング(自由英作文)の2分野から構成されています。文法セクションは原則授業内演習、作文セクションは家庭学習用の課題(宿題)となります。

使用法

予習:基本的に必要ありません。担当講師の指示に従ってください。

授業:原則として、「宿題となっていた作文セクションの解説→単元の導入→文法セクションの演習・解説」という流れで授業を進めていきます。

復習:受講して初めて知った情報や、逆に不明点として浮上した論点について、辞書や文法書などを使って理解を深め、整理します。それでも理解できないものは、担当講師やアシスタスタフに質問してください。

■ 英熟語ターゲット1000

大学受験に必要な英熟語を、コンピュータ解析にもとづいて抽出して編纂した大学受験英熟語帳の決定版。見出し語とその意味のみならず、それが実際に使用されている例文、および、見出し語との同義語・反意語もあわせて学習し、1000の表現を余すことなく理解してください。毎週決められた範囲について、空所補充などの形式からなる確認テストを実施します。なお、月例テストでは前月の熟語テスト範囲から語い問題を10問程度出題します。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 英熟語ターゲット1000の指定範囲英熟語の練習(1日15分/毎日)

毎週100個指定された範囲の英熟語を覚えます。翌週に「英文中選択空所補充形式」の確認テストを25題出題します。90点合格で、不合格の場合は追課題もしくは授業後の追試を指示します。

② メインテキストの指定範囲の演習(1日15分/2日に1回)

授業内で指定された作文セクションを宿題ノートに解答します。また、文法セクションで一部扱い切れなかった問題を宿題として課すことがあります。授業の復習は、授業で扱った問題を宿題ノートに解き直し、次の授業でチェックしてもらうようにしましょう。

【授業進行例(通常授業)】

0		30	60	90	120
熟語 テスト 5分	諸伝達 5分	演習・解説【文法】 50分		演習・解説【作文】 60分	

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	文法	作文	熟語テスト
3月	①	構成単位と単位機能①(語)	英訳(主語)、エッセイ(分析)	-
	②	構成単位と単位機能②(句)	英訳(主語)、エッセイ(創作)	1-100
	③	構成単位と単位機能③(節)	英訳(主語)、エッセイ(主張)	101-200
春期	①	構成単位の配列と意味①(SVC)	英訳(主語)、エッセイ(分析)	-
	②	構成単位の配列と意味②(SVO)	英訳(動詞)、エッセイ(創作)	-
	③	構成単位の配列と意味③(SVOO)	英訳(補部)、エッセイ(主張1)	-
	④	構成単位の配列と意味④(SVOC)	英訳(接続)、エッセイ(主張2)	-
4月	①	文の意味機能(命令文・疑問文・感嘆文)	英訳(動詞)、エッセイ(分析)	1-200
	②	動詞の拡張①(構造:態)	英訳(動詞)、エッセイ(創作)	201-300
	③	動詞の拡張②(機能:不定詞1)	英訳(動詞)、エッセイ(主張)	301-400
5月	①	動詞の拡張③(機能:不定詞2)	英訳(修飾)、エッセイ(分析)	月例テスト
	②	動詞の拡張④(機能:動名詞)	英訳(修飾)、エッセイ(創作)	401-500
	③	動詞の拡張⑤(意味:分詞)	英訳(修飾)、エッセイ(主張)	501-600
6月	①	動詞の拡張⑥(意味:時制)	英訳(接続)、エッセイ(分析)	月例テスト
	②	動詞の拡張⑦(意味:相)	英訳(接続)、エッセイ(創作)	601-700
	③	動詞の拡張⑧(意味:助動詞1)	英訳(接続)、エッセイ(主張)	701-800
7月	①	動詞の拡張⑨(意味:助動詞2)	英訳(比較)、エッセイ(分析)	月例テスト
	②	動詞の拡張⑩(意味:仮定法1)	英訳(比較)、エッセイ(創作)	1-100
	③	動詞の拡張⑪(意味:仮定法2)	英訳(比較)、エッセイ(主張)	101-200
夏期	①	語の拡張①(句動詞1・前置詞句1)	英訳(存在と時間)、エッセイ(分析)	-
	②	語の拡張②(句動詞2・前置詞句2)	英訳(認識の提示)、エッセイ(創作)	-
	③	語の拡張③(句動詞3・前置詞句3)	英訳(脈絡の構築)、エッセイ(主張)	-
9月	①	節の機能拡張①(関係詞1)	英訳(構造設定)、エッセイ(分析)	1-800
	②	節の機能拡張②(関係詞2)	英訳(構造設定)、エッセイ(創作)	201-300
	③	節の機能拡張③(関係詞3)	英訳(時間設定)、エッセイ(主張)	301-400
10月	①	節の機能拡張④(等位接続詞)	英訳(時間設定)、エッセイ(分析)	月例テスト
	②	節の機能拡張⑤(従位接続詞1)	英訳(否定肯定)、エッセイ(創作)	401-500
	③	節の機能拡張⑥(従位接続詞2)	英訳(能動受動)、エッセイ(主張)	501-600
11月	①	節の機能拡張⑦(比較1)	英訳(身体表現)、エッセイ(分析)	月例テスト
	②	節の機能拡張⑧(比較2)	英訳(擬態表現)、エッセイ(創作)	601-700
	③	節の機能拡張⑨(比較3)	英訳(比喻表現)、エッセイ(主張)	701-800
12月	①	修辞と破格①(倒置)	英訳(論理破綻)、エッセイ(分析)	月例テスト
	②	修辞と破格②(省略・挿入)	英訳(省略復元)、エッセイ(創作)	801-1000
	③	修辞と破格③(否定・強調)	英訳(情報構造)、エッセイ(主張)	1-100
冬期	①	語法研究①(動詞1:自動詞他動詞)	英訳Review、エッセイ(分析)	-
	②	語法研究②(動詞2:SVC)	英訳Review、エッセイ(創作)	-
	③	語法研究③(動詞3:SVOM/OA)	英訳Review、エッセイ(予測)	-
	④	語法研究④(動詞4:SVOO/SVOC)	英訳Review、エッセイ(主張)	-
1月	①	語法研究⑤(名詞1)	英訳(文藝翻訳)、エッセイ(読解と主張)	501-1000
	②	語法研究⑥(名詞2)	英訳(文藝翻訳)、エッセイ(読解と主張)	101-200
	③	語法研究⑦(形容詞1)	英訳(文藝翻訳)、エッセイ(読解と主張)	201-300
2月	①	語法研究⑧(形容詞2)	英訳(文藝翻訳)、エッセイ(聴解と主張)	月例テスト
	②	語法研究⑨(副詞1)	英訳(文藝翻訳)、エッセイ(聴解と主張)	301-400
	③	語法研究⑩(副詞2)	英訳(文藝翻訳)、エッセイ(聴解と主張)	401-500

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

高2英語SK α (読解)

対象

難関国公立大や、早慶上智大などの最難関私立大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

文構造や文法事項を理解したうえで一文を正確に和訳する精読力と、文同士・段落同士のつながり(論理関係)を理解する長文読解力を相乗的に伸ばすのが本講座のねらいです。

長文講義では、難関大学入試問題を厳選したテキストを用います。英文の論理関係を正確に読み解く力と、設問に隠された出題者の意図を見抜く解答力を総合的に鍛えます。

学年終了時における到達度の目安は、塾内模試である必修テスト偏差値65以上となります。早慶上智大合格に必要なとされる水準に到達することを目指します。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 高校新演習スタンダード英語長文

長文読解のメインテキストです。難関大学の入試問題を中心に構成されています。長文を論理的に読み解くスキルと、設問解答能力を養成します。なお、授業で扱わなかった問題については、必ず自学して丸付けまで行ってください(月例テストで出題するケースがあります)。

■ 高2英語 SK α 長文(2月)

私大型の長文総合問題を収録したテキストです。

使用法

予習: 講師の指示があった場合は指定範囲の長文を予習してから臨んでください。予習では、まず辞書を使用せずに全ての問題をノートに解答し、その後、全文の語句を調べておいてください。

授業: 長文の解説を中心に授業は進みます。解説の際に講師が行う板書は、ノートに写してください。

復習: 長文問題を音読してから解き直します。その際、構文がわからない部分が残らないようにノートを参照しながら復習してください。疑問点は放置せず、授業担当者やアシスタスタフに質問してください。

■ 高2英語 TW/T/SK α 精読(前期・後期)

短文精読の演習テキストです。抽象度の高い文章を正確に読むために必要な「一文を正確に読む力」を身につけるとともに、国立大などの英文和訳問題への対応力を養います。

使用法

予習: 不要です。

授業: 授業内で演習・解説を行います。授業で扱った問題以外の中から宿題が指示されます。

復習: 担当講師に指示された英文をノートに写し、構文の分析を行ったうえで和訳します。訳文は頭の中だけではなく、必ずノートに書くようにしましょう。

■ 英単語ターゲット1900

大学受験で有用性の高い必要最低限の語彙をコーパス分析によって抽出し、フレーズ単位で効果的に理解させるよう工夫が凝らされた単語帳です。毎週決められた範囲について、確認テストを実施します。なお、月例テストでは前月の単語テスト範囲から語い問題を10問程度出題します。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 英単語ターゲット1900の指定範囲英単語の練習(1日15分/毎日)

毎週100語指定された範囲の英単語を覚えます(11月③以降は範囲が広くなります)。翌週に「英→和」と「和→英」を組み合わせた確認テストを合計25題出題します。90点合格で、不合格の場合は追課題もしくは翌授業後の追試を指示します。

② 長文テキストの指定範囲の演習(1日15分/2日に1回)

指定範囲の演習を宿題ノートにします。演習後は巻末解答を見ながら丸付けをし、間違えた問題を解きなおしてください。

③ テキスト「高2英語TW/T/SK α 精読」の指定範囲の演習(1日15分/2日に1回)

指定範囲の演習を宿題ノートにします。演習後は巻末解答を見ながら丸付けをし、間違えた問題を解きなおしてください。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
単語テスト 5分	解説 5分	諸伝達 5分	演習・解説【精読】 45分	解説【長文読解】 60分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	長文	精読	単語テスト
3月	①	第1講 人称代名詞(it・they)の働き	SVの発見①	-
	②	第2講 指示語(this・thatなど)の働き	SVの発見②	1-100
	③	第3講 言い換え表現(1)	SVの発見③	101-200
春期	①	長文総合問題演習(1)	短文解釈①	-
	②	長文総合問題演習(2)	短文解釈②	-
	③	長文総合問題演習(3)	短文解釈③	-
	④	長文総合問題演習(4)	短文解釈④	-
4月	①	第4講 言い換え表現(2)	主語の諸相①	1-200
	②	第5講 キーワードの発見	主語の諸相②	201-300
	③	第6講 キーセンテンスの発見	主語の諸相③	301-400
5月	①	第7講 主題の発見	無生物主語の訳出	月例テスト
	②	第8講 因果関係を読み取る	補語の諸相①	401-500
	③	第9講 逆接の関係を読み取る	補語の諸相②・③	501-600
6月	①	第10講 賛否の対比を読み取る	補語の諸相④・⑤	月例テスト
	②	第11講 列挙された情報を読み取る	補語の諸相⑥・⑦	601-700
	③	第12講 例示と結論の関係を読み取る	非定形動詞①	701-800
7月	①	第13講 典型的な文構成(1)	非定形動詞②	月例テスト
	②	第14講 典型的な文構成(2)	非定形動詞③	801-900
	③	第15講 典型的な文構成(3)	非定形動詞④	901-1000
夏期	①	長文総合問題演習(1)	短文解釈演習①	-
	②	長文総合問題演習(2)	短文解釈演習②	-
	③	長文総合問題演習(3)	短文解釈演習③	-
9月	①	第16講 時の流れに注意しながら読む	接続詞の諸相①	1-1000
	②	第17講 数字を正確に読み取る	接続詞の諸相②	1001-1100
	③	第18講 文章を速く読む	関係詞の諸相①	1101-1200
10月	①	第19講 文化(1)	関係詞の諸相②	月例テスト
	②	第20講 文化(2)	関係詞の諸相③	1201-1300
	③	第21講 自然・環境(1)	関係詞の諸相④	1301-1400
11月	①	第22講 自然・環境(2)	反復、並行、省略の諸相①	月例テスト
	②	第23講 日常生活(1)	反復、並行、省略の諸相②	1401-1500
	③	第24講 日常生活(2)	原級比較	1-300
12月	①	第25講 社会(1)	比較級	月例テスト
	②	第26講 社会(2)	最上級相当表現	301-500
	③	第27講 科学・産業(1)	注意を要する最上級表現	501-700
冬期	①	長文総合問題演習(1)	短文解釈演習①	-
	②	長文総合問題演習(2)	短文解釈演習②	-
	③	長文総合問題演習(3)	短文解釈演習③	-
	④	長文総合問題演習(4)	短文解釈演習④	-
1月	①	第28講 科学・産業(2)	意味上の主語①	1001-1500
	②	第29講 資料の読み取り	意味上の主語②	701-900
	③	第30講 図表の読み取り	意味上の主語③	901-1100
2月	①	私大型長文総合演習(1)	文の要素の移動①	月例テスト
	②	私大型長文総合演習(2)	文の要素の移動②	1101-1300
	③	私大型長文総合演習(3)	文の要素の移動③	1301-1500

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。単語テストの範囲は変更になる可能性があります。

高2英語SK β (文法・語法)

対象

難関国公立大や、早慶上智大などの最難関私立大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

早慶上智大などに通用する力を付けるため、レベルの高い語法問題まで踏み込んだ内容を扱います。

全ての重要な単元を通常期の授業でひと通り学習するのに加えて、春期、夏期、冬期の各講習会で既習内容をよりレベルを上げて扱うので、全ての単元を確実に定着させることが出来ます。

学年終了時における到達度の目安は、塾内模試である必修テストで70点(偏差値65)となります。早慶上智大合格に必要なとされる水準に到達することを目指します。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 高2英語 SK β (前期・後期)

文法・語法のメインテキストです。単元ごとに分かれ、形式別に問題が並んでいます。授業では、重要ポイントを整理したうえでさまざまな問題形式に体系的にあたり、成績向上に必要な得点力を確実に身につけます。また、翌週に同範囲の確認テストを実施しますので、授業で扱った問題の解き直しと授業で扱わなかった問題の演習を計画的に行いましょう。

使用法

予習:原則として不要です。

授業:各回の冒頭で当該単元の導入を行ってから、「PartA」の演習～解説に移ります。講師が行う板書は、ノートに写してください。

復習:「PartA」の解き直しが宿題となります。なお「PartB」の扱いは、授業担当がクラス状況を見て判断しますので、担当講師の指示に従ってください。翌週に実施される確認テストで合格点(80点)以上取れるようしっかり復習しましょう。

■ 英熟語ターゲット1000

TW β ・T β ・SK β クラス共通の指定英熟語帳。長く記憶に残すために、指定範囲から毎日なるべく多くの熟語を繰り返し覚えるようにしましょう。また、熟語だけではなく、なるべく例文を覚えるようにしましょう。熟語テスト前日だけの学習にならないようにしましょう。なお、月例テストでは前月の熟語テスト範囲から語い問題を10問程度出題します。

■ 英文法重要事項集

英文法の勉強では絶対に避けて通ることが出来ない重要な例文、構文、慣用表現などを収録したハンドブックです。メインブックの演習時に隣においておき、必要な時に参照し、不明点を調べ解決することを習慣化しましょう。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 英熟語ターゲット1000の指定範囲英熟語の練習 (1日15分/毎日)

毎週100個指定された範囲の英熟語を覚えます。翌週に「英文中選択空所補充形式」の確認テストを25題出題します。90点合格で、不合格の場合は追課題もしくは授業後の追試を指示します。

② メインテキストの指定範囲の演習 (1日15分/2日に1回)

その週の復習として、テキスト内「練習問題」を宿題ノートにします。演習後は別冊の解答冊子を使用して丸付けをし、間違えた問題を解きなおしてください。翌授業で宿題ノートの回収と確認テストを実施します。80点合格で、不合格の場合は翌授業までの追課題を指示します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
熟語 テスト 5分	文法確認 テスト 5分	解説 5分	諸伝達 5分	導入 40分
				演習・解説 60分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	文法	学習事項	熟語テスト
3月	①	品詞・句と節	文の要素と品詞感覚、句・節の用法判別	-
	②	時制①	単純形、進行形	1-100
	③	時制②	完了形、完了進行形	101-200
春期	①	文型・動詞の語法①	-	-
	②	文型・動詞の語法②	-	-
	③	文型・動詞の語法③	-	-
	④	文型・動詞の語法④	-	-
4月	①	受動態	受動態の基本構造、共起する前置詞	1-200
	②	不定詞①	不定詞の三用法、意味上の主語	201-300
	③	不定詞②	完了不定詞、様々な表現	301-400
5月	①	動名詞	不定詞との違い、完了動名詞	月例テスト
	②	分詞①	形容詞的用法(限定用法・叙述用法)	401-500
	③	分詞②	副詞的用法(分詞構文)	501-600
6月	①	比較①	原級比較、比較級比較、最上級比較	月例テスト
	②	比較②	最上級相当表現、慣用表現	601-700
	③	助動詞①	様々な助動詞の用法	701-800
7月	①	助動詞②	助動詞の完了形、慣用表現	月例テスト
	②	仮定法①	仮定法、仮定法過去完了	1-100
	③	仮定法②	ifの代用、慣用表現	101-200
夏期	①	時制	時制総合	-
	②	準動詞①	不定詞の完成	-
	③	準動詞②	動名詞・分詞・分詞構文の完成	-
9月	①	文型・動詞の語法①	SV、SVC、SVO、自動詞と他動詞、まぎらわしい動詞など	1-800
	②	文型・動詞の語法②	SVOO、SVOC、多様な意味を持つ頻出動詞など	201-300
	③	接続詞①	等位接続詞、名詞節を導く従位接続詞	301-400
10月	①	接続詞②	副詞節を導く従位接続詞	月例テスト
	②	疑問詞と疑問文	疑問代名詞・疑問副詞	401-500
	③	関係詞①	関係代名詞と格変化	501-600
11月	①	関係詞②	前置詞+関係代名詞・関係副詞・非制限用法	月例テスト
	②	関係詞③	連鎖関係詞、疑似関係代名詞、複合関係詞	601-700
	③	名詞・冠詞の語法	名詞の種類、定冠詞・不定冠詞・無冠詞の区別	701-800
12月	①	代名詞の語法	代名詞の種類、不定代名詞の使い分け	月例テスト
	②	形容詞の語法	限定用法と叙述用法、人をSにできない形容詞	201-300
	③	副詞の語法	頻度・程度の副詞の位置、まぎらわしい副詞	301-400
冬期	①	関係詞①	関係代名詞、関係副詞	-
	②	関係詞②	複合関係詞、疑似関係詞、関係詞連鎖	-
	③	比較①	原級比較、比較級比較、最上級比較	-
	④	比較②	最上級相当表現、慣用表現	-
1月	①	前置詞①	基本的な前置詞の用法まとめ	501-1000
	②	前置詞②	前置詞①で扱った以外の前置詞、群前置詞	401-500
	③	注意すべき構文①	否定、省略、挿入、同格	501-600
2月	①	注意すべき構文②	強調、倒置	月例テスト
	②	注意すべき構文③	無生物主語構文、名詞構文	601-700
	③	総合テスト	既習範囲の総合まとめテスト	701-800

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

数学学科カリキュラム

中学1年～高校3年

数学科指導方針

TW・SKγ(中高一貫組) 授業の進め方

- 中学で仕上げた土台を基に発展的な演習へ
TWクラスでは既に中学3年生までに数学II BC(ベクトル)までの単元学習は終了しており、あとは理系の数III Cを残すのみです。文理共通範囲の数学II ABCは3年間、数学III Cについても2年間じっくりと入試演習に割く時間を確保しています。高2の12月時点で、「東大の数学で合格点に到達する解答能力」を作り上げます。
SKγクラスでは中学3年生までに高校数学の土台となる数学IAの学習まで終了しております。これから数学II BC(ベクトル)の単元学習を進め、文理共通範囲の数学II ABCの基礎をしっかりと固めてから高2以降演習+理系は数学III Cの学習を進めます。
- 課題・授業内容において「負荷をかける時期」をコントロール
早期に必要な計算力を身につけて高校数学の学習をスムーズかつハイスピードで進めるためには、やはり相応の負荷が必要です。いわゆる「できる子」でも年間130時間程度、やり直しや追加課題が必要な子だと年間200時間程度の課題が必要であると考えています。しかしながらそれを年間通じて一定のペースで消化しようとする、「困難な時期」が発生します。学校のある通常期と夏休みなどの長期休暇期間に合わせて適切に課題量を調整するのはもちろん、さらに個別に追加課題が必要な状況においても個々の状況に合わせ、本人と一緒に計画を立て、その通りに進んでいるかをチェックします。また、授業内容に関しても、通常期は「基礎・基本を確実にできるようにすること」を優先し、「発展的な問題」は講習会や学年が上がってからの演習時期で復習とともに繰り返し扱うことで、「余裕のある時期」に知識と処理能力の向上を図ります。

T・SK(高校受験組) 授業の進め方

- 中高一貫校のペースに追いつく
Tクラス・SKクラスでは数学II BC(ベクトル)までの単元学習を早期に終え、数学II ABCの入試演習および理系であれば数III Cの単元学習に入るタイミングを早めています。これはなにより「最難関大学の現役合格には中高一貫の先取り学習に追いつくこと」が必要であることに他なりません。特にTクラスでは高1の1年間で数学II BC(ベクトル)の単元学習まで完了し、標準的な中高一貫校のカリキュラムに追いつくように設計しています。
- 課題・授業内容において「負荷をかける時期」をコントロール
早期に必要な計算力を身につけて高校数学の学習をスムーズかつハイスピードで進めるためには、やはり相応の負荷が必要です。いわゆる「できる子」でも年間130時間程度、やり直しや追加課題が必要な子だと年間200時間程度の課題が必要であると考えています。しかしながらそれを年間通じて一定のペースで消化しようとする、「困難な時期」が発生します。学校のある通常期と夏休みなどの長期休暇期間に合わせて適切に課題量を調整するのはもちろん、さらに個別に追加課題が必要な状況においても個々の状況に合わせ、本人と一緒に計画を立て、その通りに進んでいるかをチェックします。また、授業内容に関しても、通常期は「基礎・基本を確実にできるようにすること」を優先し、「発展的な問題」は講習会や学年が上がってからの演習時期で復習とともに繰り返し扱うことで、「余裕のある時期」に知識と処理能力の向上を図ります。

【3年間の流れ】

	TW・SKγ(中高一貫組)	T・SK(高校受験組)
高1	【TW】高校数学の基本事項を一通り習得していることを前提とし、各分野の応用問題演習を扱いながら、単元横断的な考え方や解法を習得します。また、理系の生徒に関しては数学IIIの基本知識をこの1年間で学習します。 【SKγ】一気に知識や考え方・解法の幅が広がる数学II Bを1年間かけて確実に固めていきます。文理共通範囲である数学II ABCの単元学習はここで完了します。	【T】夏休みまでに数学IAの単元学習を終え、それを土台に冬期講習会までに数学II BCの単元学習を終えます。この1年間で、まずは標準的な中高一貫校のペースに追いつきます。理系の生徒は、3学期に数学III Cを導入します。 【SK】夏休みまでに数学IAの基本事項を概ね終え、2学期からは数学IIの先取りを行います。
高2	【TW】数学II ABC、数学III Cともに入試問題を用いての実戦演習を反復し、本番で得点できる解答能力・記述答案作成能力の向上を図ります。	【T】高校数学の基本事項を一通り習得していることを前提とし、各分野の応用問題演習を扱いながら、単元横断的な考え方や解法を習得します。また、理系の生徒に関しては数学III Cの基本知識をこの1年間で学習します。 【SK】夏休みまでに数学II BCの基本事項を終えます。後期は高校数学の基本事項を一通り習得していることを前提とし、各分野の復習とともに単元横断的な考え方や解法を習得します。また、理系の生徒に関しては数学III Cの基本知識を後期の半年間で学習します。
高3	数学II ABC、数学III Cともに入試問題を用いての実戦演習を反復し、本番で得点できる解答能力・記述答案作成能力の向上を図ります。	【T】 【SK】 数学II ABC、数学III Cともに入試問題を用いての実戦演習を反復し、本番で得点できる解答能力の向上を図ります。

【カリキュラム】

		中1			中2			中3		
		〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉	〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉	〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉
TW Booster	α		中1～中3代数		I 導入	II 導入		II 導入		I II 演習
	β		中1～中3幾何		A 導入	B 導入	B 導入		I A II B 演習	
TW	α		中1～中3代数	中3代数	I 導入		II 導入			
	β		中1～中3幾何	中3幾何	A 導入		I 導入	B 導入		II 演習
S	α		中1～中3代数	中3代数	中学代数復習			I 導入		II 導入
	β		中1～中3幾何	中3幾何	中学幾何復習			A 導入		I A 演習

【ノート】

授業に参加するにあたり、以下の3つのノートをご用意ください。

- ① 授業ノート
講義内容（理論の説明部分）、授業内での問題演習部分ともに1冊のノートでまとめて構いません。後から見返す際の見やすさを考えて、ノート左ページを講義内容、右ページを左ページの講義内容に対応する演習問題を解くページとすることを推奨しますが、ある程度自分なりに見やすくなるよう工夫していただいて構いません。講師からの特別な指示がない限り、テキストに直接書き込むことはせず、講師からの説明内容はすべてこのノートに記録してください。
※最低限、黒・赤・青・緑の4色+適宜蛍光ペン1本あれば問題ありません。
- ② 宿題用ノート
宿題用のテキストの問題演習のための専用ノートをご用意ください。毎回の授業時に講師が回収し、宿題チェックを行います。問題を解き、赤ペンで答え合わせをすところまで、このノートに実施してください。
※間違えた問題の解きなおしは③のノートに行ってください。
- ③ 間違いまとめノート
自分の間違えた問題の解きなおし、および「どんな間違いをしてしまったか」を蓄積するノートです。「授業内で間違えてしまった問題」「宿題で間違えてしまった問題」「テストで間違えてしまった問題」、すべてここに記録しましょう。②のノートとともに、毎回の授業で講師がチェックします。

【宿題の量】

学年により多少変動はしますが、概ね以下のような分量の課題が課されます。

- ① 通常期に関しては、 $\alpha\beta$ 合計平均3時間前後/週 × 通常授業30回 = 年間90時間程度
- ② 長期休暇期間に関しては、春休み中、GW、夏休み中、冬休み中で合計40時間程度

①+②で年間130時間程度分の課題が課されます。

また、①②において「間違い箇所が多い場合」は必然的に「やり直しや復習にかかる時間」が増えます。

- ①で $\alpha\beta$ 合計で通常期平均+1時間、講習会平均+2時間の復習時間が増加
- ②で長期休暇課題が1.5倍程度に増加すると仮定すると、
1時間 × 通常30回 + 2時間 × 講習会（春夏冬）合計11回 + 休暇課題20時間 = 70時間程度となるため、この場合は年間200時間程度必要です。

【テスト(高2)】

東大水準模試	7月、12月に実施します。TW/Tクラス選抜試験を兼ねます。TW/Tクラスの受講にはこの試験に合格することが必要です。合格者は科目ごとに選出されますので、単科での受験も可能です。またこの試験を当日3科目受験し、優秀な成績を収めた方は「特待生」の資格が得られます。												
	実施月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
必修テスト	記述型全国模試を6月、9月、11月、2月の年4回受験します。単元学習を離れた実力テストで普段の学習がどの程度定着しているかを判断することができます。												
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
月例テスト	5月より指定月の初回授業冒頭20分間で月例テストを行います。前月学習したテキスト内容から出題されます。目標点数の目安は60点です。												
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
確認テスト	毎月第2回目、第3回目の授業において実施するクラスがあります。前週に学習した内容の確認テストを行います。テキストの類題が出題されます。目標点数の目安は60点です。												
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月

		高1			高2			高3		
		<1学期>	<2学期>	<3学期>	<1学期>	<2学期>	<3学期>	<1学期>	<2学期>	<3学期>
TW	α	III導入			III演習			III演習		
	$\beta \cdot \gamma$	I II ABC演習			I II ABC演習			I II ABC演習		
SK γ		II BC導入			I A II B演習					
T	α	I導入	II導入	III導入	III導入	III演習	C導入	III演習		
	β	A導入	B導入	I II ABC演習	I II ABC演習			I II ABC演習		
SK	α	I導入	II導入		II導入	III導入		III演習		
	β	A導入		BC導入	BC導入	III導入		I II ABC演習		

❖ 数学科カリキュラム

高2数学TW α (数III C演習)

選抜

中高一貫

通常授業(1回)

講習会(1回)

120分

180分

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。

※受講には東大水準模試(兼TW/Tクラス選抜試験)で受講資格を得ることが必要です

講座の目的

最難関国公立大学で数多く出題される数学III Cの問題演習を行います。計算量が多く高い処理力を要求されるうえ、考えさせる問題も多い数学III Cについて、出題パターンを網羅していきます。

高1数学TW α で学んだ内容の定着を図るとともに最難関大学の入試問題にも取り組み、早稲田大学・慶應義塾大学理系レベルの問題で合格点水準まで解けるようになることを目標とします。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 高2数学TW α (前期)・高2数学TW/T α (後期)

授業内で使用するメインテキストです。入試問題を中心に掲載していますので、授業後の自習教材用の問題としても利用できます。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

復習:さまざまなパターンの問題をテーマごとに掲載しています。自分の苦手な範囲の問題を中心に演習してください。また詳しい解答・解説のページも設けていますので、解けなかった問題の解法も理解することができます。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 授業テキスト指定題演習(1週間で2時間程度)

授業テキスト内の「演習題」から2~3問、講師からの指定箇所を宿題とします。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り解き、答え合わせまで行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

② 月例テストやりなおし(1週間で30分程度)

月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題に関して、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは解き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
月例テスト 20分	諸伝達 5分	演習 20分	解説・講義 25分	演習 20分
				解説・講義 30分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。

【カリキュラム】

月	回	授業内容	月例テスト
3月	①	【数ⅢC演習】極限	-
	②	【数ⅢC演習】微分法	-
	③	【数ⅢC演習】積分法	-
春期	①	【数ⅢC演習】微分法①	-
	②	【数ⅢC演習】微分法②	-
	③	【数ⅢC演習】微分法③	-
	④	【数ⅢC演習】微分法④	-
4月	①	【数ⅢC演習】数列の極限①	-
	②	【数ⅢC演習】数列の極限②	-
	③	【数ⅢC演習】関数の極限	-
5月	①	【数ⅢC演習】平均値の定理	月例テスト
	②	【数ⅢC演習】凸不等式	-
	③	【数ⅢC演習】微分可能性	-
6月	①	【数ⅢC演習】定積分の計算の応用	月例テスト
	②	【数ⅢC演習】定積分で表された関数・数列、積分方程式	-
	③	【数ⅢC演習】定積分と不等式、面積評価	-
7月	①	【数ⅢC演習】区分求積法	月例テスト
	②	【数ⅢC演習】面積	-
	③	【数ⅢC演習】回転体の体積	-
夏期	①	【数ⅢC演習】非回転体の求積	-
	②	【数ⅢC演習】複素数平面①	-
	③	【数ⅢC演習】複素数平面②	-
9月	①	【数ⅢC演習】極限①	-
	②	【数ⅢC演習】極限②	-
	③	【数ⅢC演習】微分法①	-
10月	①	【数ⅢC演習】微分法②	月例テスト
	②	【数ⅢC演習】積分法①	-
	③	【数ⅢC演習】積分法②	-
11月	①	【数ⅢC演習】積分法③	月例テスト
	②	【数ⅢC演習】積分法④	-
	③	【数ⅢC演習】積分法⑤	-
12月	①	【数ⅢC演習】曲線の長さ	月例テスト
	②	【数ⅢC演習】2次曲線	-
	③	【数ⅢC演習】複素数平面	-
冬期	①	【数ⅢC演習】早慶上智大入試研究①	-
	②	【数ⅢC演習】早慶上智大入試研究②	-
	③	【数ⅢC演習】東大・難関国公立大入試研究①	-
	④	【数ⅢC演習】東大・難関国公立大入試研究②	-
1月	①	【数ⅢC演習】総合演習①	-
	②	【数ⅢC演習】総合演習②	-
	③	【数ⅢC演習】総合演習③	-
2月	①	【数ⅢC演習】総合演習④	-
	②	【数ⅢC演習】総合演習⑤	-
	③	【数ⅢC演習】総合演習⑥	-

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

❖ 数学科カリキュラム

高2数学TW β (数IIIABC演習)

選抜

中高一貫

通常授業(1回)

講習会(1回)

120分

180分

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。

※受講には東大水準模試(兼TW/Tクラス選抜試験)で受講資格を得ることが必要です

講座の目的

高1数学TW β に引き続き、数学IIIABCの問題演習を行います。単元の垣根を越えて出題されることも多い数学IIIABC分野ですが、さまざまな単元の関連付けも行いながら解ける問題を増やしていきます。

受験生になる前の高2段階で最難関大学の入試問題にも取り組み、早稲田大学・慶應義塾大学レベルの問題で合格点水準まで解けるようになることを目標とします。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 高2数学TW/T β (前期・後期)

授業内で使用するメインテキストです。入試問題を中心に掲載していますので、授業後の自習教材としても利用できます。

使用法

予習:次回分の「計算問題」を確認しておきましょう。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。既習分野の問題演習中心の授業になります。

復習:さまざまなパターンの問題をテーマごとに掲載しています。自分の苦手な範囲の問題を中心に演習してください。また詳しい解答・解説のページも設けていますので、解けなかった問題の解法も理解することができます。

■ 新数学スタンダード演習

自習に使用する復習用のテキストです。

使用法

復習:授業内で扱う数学IIIABCの応用レベルの問題が記載されています。授業ノートを照らし合わせながら復習することで、理解度をさらに深められます。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 新数学スタンダード演習(1週間で1時間程度)

このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り解き、赤ペンを用いて答え合わせを行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

② 授業テキスト指定題演習(1週間で2時間程度)

授業テキスト内の「演習題」から2~3問、講師からの指定箇所を宿題とします。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り解き、答え合わせまで行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

③ 月例テストやりなおし(1週間で30分程度)

月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題に関して、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは解き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
月例テスト 20分	諸伝達 5分	演習 20分	解説・講義 25分	演習 20分
				解説・講義 30分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。

【カリキュラム】

月	回	授業内容	月例テスト
3月	①	【数ⅢABC演習】場合の数	-
	②	【数ⅢABC演習】確率	-
	③	【数ⅢABC演習】整数①	-
春期	①	【数ⅢABC演習】数と式、整式の割り算	-
	②	【数ⅢABC演習】等式・不等式の証明	-
	③	【数ⅢABC演習】方程式・不等式	-
	④	【数ⅢABC演習】解と係数の関係	-
4月	①	【数ⅢABC演習】2次関数	-
	②	【数ⅢABC演習】三角関数①	-
	③	【数ⅢABC演習】三角関数②	-
5月	①	【数ⅢABC演習】指数関数・対数関数①	月例テスト
	②	【数ⅢABC演習】指数関数・対数関数②	-
	③	【数ⅢABC演習】微積分①	-
6月	①	【数ⅢABC演習】微積分②	月例テスト
	②	【数ⅢABC演習】微積分③	-
	③	【数ⅢABC演習】座標平面	-
7月	①	【数ⅢABC演習】軌跡・領域	月例テスト
	②	【数ⅢABC演習】数列①	-
	③	【数ⅢABC演習】数列②	-
夏期	①	【数ⅢABC演習】平面ベクトル①	-
	②	【数ⅢABC演習】平面ベクトル②	-
	③	【数ⅢABC演習】空間ベクトル	-
9月	①	【数ⅢABC演習】曲線の通過領域①	-
	②	【数ⅢABC演習】曲線の通過領域②	-
	③	【数ⅢABC演習】確率漸化式①	-
10月	①	【数ⅢABC演習】確率漸化式②	月例テスト
	②	【数ⅢABC演習】絶対不等式①	-
	③	【数ⅢABC演習】絶対不等式②	-
11月	①	【数ⅢABC演習】整数①	月例テスト
	②	【数ⅢABC演習】整数②	-
	③	【数ⅢABC演習】微分法	-
12月	①	【数ⅢABC演習】積分法	月例テスト
	②	【数ⅢABC演習】平面ベクトル	-
	③	【数ⅢABC演習】空間ベクトル	-
冬期	①	【数ⅢABC演習】早慶上智大入試研究①	-
	②	【数ⅢABC演習】早慶上智大入試研究②	-
	③	【数ⅢABC演習】東大・難関国公立大入試研究①	-
	④	【数ⅢABC演習】東大・難関国公立大入試研究②	-
1月	①	【数ⅢABC演習】総合演習①	-
	②	【数ⅢABC演習】総合演習②	-
	③	【数ⅢABC演習】総合演習③	-
2月	①	【数ⅢABC演習】総合演習④	-
	②	【数ⅢABC演習】総合演習⑤	-
	③	【数ⅢABC演習】総合演習⑥	-

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

高2数学T α (数学III C) 選抜



東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。
※受講には東大準模試(兼TW/Tクラス選抜試験)で受講資格を得ることが必要です

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

開成高などの高校入試トップクラスの高校に合わせた非常に速い先取りカリキュラムで進んでいきます。高1Tクラスに引き続き、本講座では数学III Cを全て扱います。数学III Cは思考力が要求されることはもちろん、高い計算処理能力も要求されます。本講座では、その基礎を一気につくり上げていきます。

学年終了時には、東京理科大レベルの数学III Cの入試問題が合格水準まで解けることを目標とします。

【教材】

■ 数学III C(授業用)

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関大レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

復習:授業で扱った問題の解き直しに取り組みましょう。

■ 高2数学T α (5~7月)、高2数学TW/T α (後期)、高2数学T α (12月)

授業内で使用するメインテキストです。入試問題を中心に掲載していますので、授業後の自習教材用の問題としても利用できます。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

復習:さまざまなパターンの問題をテーマごとに掲載しています。自分の苦手な範囲の問題を中心に演習してください。また詳しい解答・解説のページも設けていますので、解けなかった問題の解法も理解することができます。

■ コンプリート 数学III、数学C

宿題に使用する問題演習用のテキストです。

使用法

各回の授業にて講師から範囲が指定されますので、次回の授業までに解いてくるようにしてください。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① コンプリート 数学III、数学C、数学IIIサブテキスト (1週間で1時間程度)

毎週の授業で扱った単元に合わせて、このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り解き、赤ペンを用いて答え合わせを行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

② 授業テキスト指定題演習 (1週間で2時間程度)

授業テキスト内の講師からの指定箇所を宿題とします。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り解き、答え合わせまでを行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

③ 確認テスト・月例テストやりなおし (1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題に関して、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは解き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120			
確認テスト 15分	諸伝達 5分	講義 25分	演習 15分	解説 10分	講義 25分	演習 15分	解説 10分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	授業内容	使用テキスト	確認テスト
3月	①	【数III】§3-1 導関数の計算	数学III C(授業用)	-
	②	【数III】§3-2 各種の関数の導関数	数学III C(授業用)	§3-1 導関数の計算
	③	【数III】§3-4 接線と法線	数学III C(授業用)	§3-2 各種の関数の導関数
春期	①	【数III】§3-6 関数の増減と極値	数学III C(授業用)	-
	②	【数III】§3-7 グラフの凹凸	数学III C(授業用)	§3-6 関数の増減と極値
	③	【数III】§3-8 関数の最大・最小	数学III C(授業用)	§3-7 グラフの凹凸
	④	【数III】§3-9 方程式・不等式への応用	数学III C(授業用)	§3-8 関数の最大・最小
4月	①	【数III】§4-1 不定積分	数学III C(授業用)	-
	②	【数III】§4-1 不定積分	数学III C(授業用)	§4-1 不定積分
	③	【数III】§4-2 いろいろな関数の不定積分	数学III C(授業用)	§4-1 不定積分
5月	①	【数III】§4-3 定積分①	数学III C(授業用)	月例テスト
	②	【数III】§4-4 定積分②	数学III C(授業用)	§4-3 定積分①
	③	【数III】極限演習①	「高2数学Tα(5月～7月)」テキスト	§4-4 定積分②
6月	①	【数III】極限演習②	「高2数学Tα(5月～7月)」テキスト	月例テスト
	②	【数III】微分演習①	「高2数学Tα(5月～7月)」テキスト	極限演習②
	③	【数III】微分演習②	「高2数学Tα(5月～7月)」テキスト	微分演習①
7月	①	【数III】積分演習①	「高2数学Tα(5月～7月)」テキスト	月例テスト
	②	【数III】積分演習②	「高2数学Tα(5月～7月)」テキスト	積分演習①
	③	【数III】積分演習③	「高2数学Tα(5月～7月)」テキスト	積分演習②
夏期	①	【数III】§4-6 定積分と面積①/§4-7 定積分と面積②	数学III C(授業用)	-
	②	【数III】§4-8 定積分と体積	数学III C(授業用)	§4-6 定積分と面積①/§4-7 定積分と面積②
	③	【数III】§4-9 区分求積法・不等式への応用	数学III C(授業用)	§4-8 定積分と体積
9月	①	【数III C演習】極限①	「高2数学TW/Tα(後期)」テキスト	-
	②	【数III C演習】極限②	「高2数学TW/Tα(後期)」テキスト	-
	③	【数III C演習】微分法①	「高2数学TW/Tα(後期)」テキスト	-
10月	①	【数III C演習】微分法②	「高2数学TW/Tα(後期)」テキスト	月例テスト
	②	【数III C演習】積分法①	「高2数学TW/Tα(後期)」テキスト	-
	③	【数III C演習】積分法②	「高2数学TW/Tα(後期)」テキスト	-
11月	①	【数III C演習】積分法③	「高2数学TW/Tα(後期)」テキスト	月例テスト
	②	【数III C演習】積分法④	「高2数学TW/Tα(後期)」テキスト	-
	③	【数III C演習】積分法⑤	「高2数学TW/Tα(後期)」テキスト	-
12月	①	【数III C演習】曲線の長さ	「高2数学TW/Tα(後期)」テキスト	月例テスト
	②	【数III C演習】発展演習①	「高2数学Tα(12月)」テキスト	-
	③	【数III C演習】発展演習②	「高2数学Tα(12月)」テキスト	-
冬期	①	【数C】§5-1 複素数平面	数学III C(授業用)	-
	②	【数C】§5-2 複素数の極形式①	数学III C(授業用)	§5-1 複素数平面
	③	【数C】§5-3 複素数の極形式②	数学III C(授業用)	§5-2 複素数の極形式①
	④	【数C】§5-4 複素数平面上の図形	数学III C(授業用)	§5-3 複素数の極形式②
1月	①	【数C】§6-1 放物線・楕円・双曲線 [1]	数学III C(授業用)	-
	②	【数C】§6-1 放物線・楕円・双曲線 [2]	数学III C(授業用)	§6-1 放物線・楕円・双曲線 [1]
	③	【数C】§6-2 二次曲線と直線	数学III C(授業用)	§6-1 放物線・楕円・双曲線 [2]
2月	①	【数C】§6-3 媒介変数表示	数学III C(授業用)	月例テスト
	②	【数C】§6-4 極座標と極方程式	数学III C(授業用)	§6-3 媒介変数表示
	③	【数C】§6 発展演習	数学III C(授業用)	§6-4 極座標と極方程式

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

高2数学Tβ (数ⅡABC演習) 選抜

通常授業(1回)

講習会(1回)

120分

180分

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。

※受講には東大水準模試(兼TW/Tクラス選抜試験)で受講資格を得ることが必要です

講座の目的

高1数学Tα・Tβで学んだ内容の定着と入試問題への対応力を高めるため、数学ⅡABC(「ベクトル」も含む)の問題演習を行います。単元の垣根を越えて出題されることも多い数学ⅡABC分野ですので、さまざまな単元の内容を振り返りながら最難関大学の入試問題にも取り組んでいきます。

受験生になる前の高2段階で、最難関大学の入試問題にも取り組み、早稲田大学、慶應義塾大学の標準レベルの問題で合格点水準まで解けるようになることを目標とします。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 高2数学TW/Tβ (前期・後期)

授業内で使用するメインテキストです。入試問題を中心に掲載していますので、授業後の自習教材としても利用できます。

使用法

予習: 次回分の「計算問題」を確認しておきましょう。

授業: 授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。既習分野の問題演習中心の授業になります。

復習: さまざまなパターンの問題をテーマごとに掲載しています。自分の苦手な範囲の問題を中心に演習してください。また詳しい解答・解説のページも設けていますので、解けなかった問題の解法も理解することができます。

■ 新数学スタンダード演習

自習に使用する復習用のテキストです。

使用法

授業内で扱う数学ⅡABCの応用レベルの問題が掲載されています。授業ノートと照らし合わせながら復習することで、理解度をさらに深められます。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 新数学スタンダード演習 (1週間で1時間程度)

このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り解き、赤ペンを用いて答え合わせを行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

② 授業テキスト指定題演習 (1週間で2時間程度)

授業テキスト内の「演習題」から2〜3問、講師からの指定箇所を宿題とします。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り解き、答え合わせまで行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

③ 確認テスト・月例テストやりなおし (1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題に関して、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは解き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
月例テスト 20分	諸伝達 5分	演習 20分	解説・講義 25分	演習 20分
				解説・講義 30分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。

【カリキュラム】

月	回	授業内容	確認テスト
3月	①	【数ⅢABC演習】場合の数	-
	②	【数ⅢABC演習】確率	場合の数
	③	【数ⅢABC演習】整数①	確率
春期	①	【数ⅢABC演習】数と式、整式の割り算	-
	②	【数ⅢABC演習】等式・不等式の証明	-
	③	【数ⅢABC演習】方程式・不等式	-
	④	【数ⅢABC演習】解と係数の関係	-
4月	①	【数ⅢABC演習】2次関数	-
	②	【数ⅢABC演習】三角関数①	2次関数
	③	【数ⅢABC演習】三角関数②	三角関数①
5月	①	【数ⅢABC演習】指数関数・対数関数①	月例テスト
	②	【数ⅢABC演習】指数関数・対数関数②	指数関数・対数関数①
	③	【数ⅢABC演習】微積分①	指数関数・対数関数②
6月	①	【数ⅢABC演習】微積分②	月例テスト
	②	【数ⅢABC演習】微積分③	微積分②
	③	【数ⅢABC演習】座標平面	微積分③
7月	①	【数ⅢABC演習】軌跡・領域	月例テスト
	②	【数ⅢABC演習】数列①	軌跡・領域
	③	【数ⅢABC演習】数列②	数列①
夏期	①	【数ⅢABC演習】平面ベクトル①	-
	②	【数ⅢABC演習】平面ベクトル②	-
	③	【数ⅢABC演習】空間ベクトル	-
9月	①	【数ⅢABC演習】曲線の通過領域①	-
	②	【数ⅢABC演習】曲線の通過領域②	-
	③	【数ⅢABC演習】確率漸化式①	-
10月	①	【数ⅢABC演習】確率漸化式②	月例テスト
	②	【数ⅢABC演習】絶対不等式①	-
	③	【数ⅢABC演習】絶対不等式②	-
11月	①	【数ⅢABC演習】整数①	月例テスト
	②	【数ⅢABC演習】整数②	-
	③	【数ⅢABC演習】微分法	-
12月	①	【数ⅢABC演習】積分法	月例テスト
	②	【数ⅢABC演習】平面ベクトル	-
	③	【数ⅢABC演習】空間ベクトル	-
冬期	①	【数ⅢABC演習】早慶上智大入試研究①	-
	②	【数ⅢABC演習】早慶上智大入試研究②	-
	③	【数ⅢABC演習】東大・難関国公立大入試研究①	-
	④	【数ⅢABC演習】東大・難関国公立大入試研究②	-
1月	①	【数ⅢABC演習】総合演習①	-
	②	【数ⅢABC演習】総合演習②	-
	③	【数ⅢABC演習】総合演習③	-
2月	①	【数ⅢABC演習】総合演習④	-
	②	【数ⅢABC演習】総合演習⑤	-
	③	【数ⅢABC演習】総合演習⑥	-

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

高2数学SK α (数学II→数学III)



難関国公立大や、早慶上智大などの最難関私立大学を目指す生徒。
(2学期以降は数学IIIが必要となる生徒)

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

数学IIIIIの基本事項をしっかりと定着させ、さまざまな関数の扱い方を学習します。1学期中に数学IIを終わらせ、2学期からは数学IIIに入っていきます。数学IIIが必要ない人は、2学期以降は数学SK γ の受講を推奨します。授業では頻出問題だけでなく複雑な入試問題も適宜扱っていくことで、得点につながる答案作成力を鍛えていきます。

高2の夏の段階で、大学入学共通テストレベルの数学II範囲の7割以上、学年終了時にはGMARCHの入試問題で合格点を取れるようになることを目標とします。

【教材】

■ 数学IIB+ベクトル(授業用)新版、数学IIIC(授業用)新版

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関大レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

復習:授業で扱った問題の解き直しに取り組みましょう。

■ 演習用テキスト

講習会以外の演習実施回では、メインテキストではなく演習用テキストを配布し使用します。

■ 講習会テキスト(夏期講習会で使用)

講習会で使用する問題演習用のテキストです。入試問題を中心に掲載していますので、講習会後の自習教材としても利用できます。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。講習会では既習分野の問題演習中心の授業になります。

復習:さまざまなパターンの問題をテーマごとに掲載しています。自分の苦手な範囲の問題を中心に演習してください。また詳しい解答・解説のページも設けていますので、解けなかった問題の解法も理解することができます。

■ コンプリート 数学II、数学III

宿題に使用する問題演習用のテキストです。

使用法

各回の授業にて講師から範囲が指定されますので、次回の授業までに解いてくるようにしてください。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① コンプリート 数学II、数学III (1週間でそれぞれ1時間程度)

毎週の授業で扱った単元に合わせて、このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り解き、赤ペンを用いて答え合わせを行います。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

② 授業テキスト指定題演習 (1週間で2時間程度)

授業テキスト内の講師からの指定箇所を宿題とします。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り解き、答え合わせまで行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

③ 確認テスト・月例テストやりなおし (1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題に関して、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは解き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
確認テスト 15分	諸伝達 5分	講義 25分	演習 15分	解説 10分
		講義 25分	演習 15分	解説 10分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	授業内容	使用テキスト	確認テスト
3月	①	【数II演習】三角関数①	「三角関数演習(3月)」テキスト	-
	②	【数II演習】三角関数②	「三角関数演習(3月)」テキスト	-
	③	【数II演習】三角関数③	「三角関数演習(3月)」テキスト	-
春期	①	【数II】§5-1 指数の拡張 / §5-2 指数関数	数学II B+ベクトル(授業用)	-
	②	【数II】§5-3 対数とその性質	数学II B+ベクトル(授業用)	§5-1 指数の拡張 / §5-2 指数関数
	③	【数II】§5-4 対数関数	数学II B+ベクトル(授業用)	§5-3 対数とその性質
	④	【数II】§5-5 常用対数	数学II B+ベクトル(授業用)	§5-4 対数関数
4月	①	【数II】§6-1 微分係数と導関数	数学II B+ベクトル(授業用)	-
	②	【数II】§6-2 接線	数学II B+ベクトル(授業用)	§6-1 微分係数と導関数
	③	【数II】§6-3 関数の増減と極値	数学II B+ベクトル(授業用)	§6-2 接線
5月	①	【数II】§6-4 最大値と最小値	数学II B+ベクトル(授業用)	月例テスト
	②	【数II】§6-5 方程式・不等式への応用	数学II B+ベクトル(授業用)	§6-4 最大値と最小値
	③	【数II】§6-6 不定積分・定積分	数学II B+ベクトル(授業用)	§6-5 方程式・不等式への応用
6月	①	【数II】§6-7 定積分で表された関数	数学II B+ベクトル(授業用)	月例テスト
	②	【数II】§6-8 定積分と面積	数学II B+ベクトル(授業用)	§6-7 定積分で表された関数
	③	【数II】§6-9 定積分の応用	数学II B+ベクトル(授業用)	§6-8 定積分と面積
7月	①	【数III演習】関数①	「関数演習(7月)」テキスト	月例テスト
	②	【数III演習】関数②	「関数演習(7月)」テキスト	-
	③	【数III演習】関数③	「関数演習(7月)」テキスト	-
夏期	①	【数II演習】微積分演習①	夏期テキスト	-
	②	【数II演習】微積分演習②	夏期テキスト	-
	③	【数II演習】微積分演習③	夏期テキスト	-
9月	①	【数III】§2-1 数列の極限 / §2-2 等比数列の極限	数学III C(授業用)	-
	②	【数III】§2-3 無限級数	数学III C(授業用)	§2-1 数列の極限 / §2-2 等比数列の極限
	③	【数III】§2-4 関数の極限	数学III C(授業用)	§2-3 無限級数
10月	①	【数III】§2-5 いろいろな関数の極限	数学III C(授業用)	月例テスト
	②	【数III】§2-6 関数の連続性 / §3-1 導関数の計算	数学III C(授業用)	§2-5 いろいろな関数の極限
	③	【数III】§3-2 各種の関数の導関数	数学III C(授業用)	§2-6 関数の連続性 / §3-1 導関数の計算
11月	①	【数III】§3-3 高次導関数・いろいろな微分法	数学III C(授業用)	月例テスト
	②	【数III】§3-4 接線と法線	数学III C(授業用)	§3-3 高次導関数・いろいろな微分法
	③	【数III】§3-5 平均値の定理 / §3-6 関数の増減と極値	数学III C(授業用)	§3-4 接線と法線
12月	①	【数III】§3-7 グラフの凹凸	数学III C(授業用)	月例テスト
	②	【数III】§3-8 関数の最大・最小	数学III C(授業用)	§3-7 グラフの凹凸
	③	【数III】§3-9 方程式・不等式への応用	数学III C(授業用)	§3-8 関数の最大・最小
冬期	①	【数III】§4-1 不定積分	数学III C(授業用)	-
	②	【数III】§4-2 いろいろな関数の不定積分	数学III C(授業用)	§4-1 不定積分
	③	【数III】§4-3 定積分①	数学III C(授業用)	§4-2 いろいろな関数の不定積分
	④	【数III】§4-4 定積分②	数学III C(授業用)	§4-3 定積分①
1月	①	【数III】§4-5 定積分で表された関数	数学III C(授業用)	-
	②	【数III】§4-6 定積分と面積①	数学III C(授業用)	§4-5 定積分で表された関数
	③	【数III】§4-7 定積分と面積②	数学III C(授業用)	§4-6 定積分と面積①
2月	①	【数III】§4-8 定積分と体積	数学III C(授業用)	月例テスト
	②	【数III】§4-9 区分求積法・不等式への応用	数学III C(授業用)	§4-8 定積分と体積
	③	【数III】§4-10 曲線の長さ	数学III C(授業用)	§4-9 区分求積法・不等式への応用

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

高2数学SK β (数学BC→数学III C)

対象

難関国公立大や、早慶上智大などの最難関私立大学を目指す生徒。
(2学期以降は数学III Cが必要な生徒)

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

数学BCの各単元における基本事項をしっかりと定着させます。1学期中に数学BCを終わらせ、2学期からは数学III Cに入っていきます。数学III Cが必要ない人は、2学期以降は数学SK γ の受講を推奨します。授業では頻出問題だけでなく複雑な入試問題も適宜扱っていくことで、得点につながる答案作成力を鍛えていきます。

高2の夏の段階で、大学入学共通テストレベルの数学B範囲の7割以上、学年終了時にはGMARCHの入試問題で合格点を取れるようになることを目標とします。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 数学II B+ベクトル(授業用)新版、数学III C(授業用)新版

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関大レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

■ 演習用テキスト

7月・1月・2月に使用する問題演習用のテキストです。入試問題を中心に掲載していますので、授業後の自習教材としても利用できます。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。既習分野の問題演習中心の授業になります。

復習:さまざまなパターンの問題をテーマごとに掲載しています。自分の苦手な範囲の問題を中心に演習してください。また詳しい解答・解説のページも設けていますので、解けなかった問題の解法も理解することができます。

■ コンプリート 数学III、数学B、数学C

宿題に使用する問題演習用のテキストです。

使用法

各回の授業にて講師から範囲が指定されますので、次回の授業までに解いてくるようにしてください。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① コンプリート 数学III、数学B、数学C (1週間で1時間程度)

毎週の授業で扱った単元に合わせて、このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り解き、赤ペンを用いて答え合わせを行いましょ。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

② 授業テキスト指定題演習 (1週間で2時間程度)

授業テキスト内の講師からの指定箇所を宿題とします。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り解き、答え合わせまで行いましょ。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

③ 確認テスト・月例テストやりなおし (1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題に関して、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは解き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120			
確認テスト 15分	諸伝達 5分	講義 25分	演習 15分	解説 10分	講義 25分	演習 15分	解説 10分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	授業内容	使用テキスト	確認テスト
3月	①	【数B】§7-5 漸化式と数列①	数学II B+ベクトル(授業用)	-
	②	【数B】§7-6 漸化式と数列②	数学II B+ベクトル(授業用)	§7-5 漸化式と数列①
	③	【数B】§7-7 数学的帰納法	数学II B+ベクトル(授業用)	§7-6 漸化式と数列②
春期	①	【数II演習】図形と方程式演習①	春期テキスト	-
	②	【数II演習】図形と方程式演習②	春期テキスト	-
	③	【数II演習】図形と方程式演習③	春期テキスト	-
	④	【数II演習】図形と方程式演習④	春期テキスト	-
4月	①	【数C】§8-1 ベクトルの演算と成分	数学II B+ベクトル(授業用)	-
	②	【数C】§8-2 ベクトルの内積	数学II B+ベクトル(授業用)	§8-1 ベクトルの演算と成分
	③	【数C】§8-3 位置ベクトル	数学II B+ベクトル(授業用)	§8-2 ベクトルの内積
5月	①	【数C】§8-4 ベクトル方程式	数学II B+ベクトル(授業用)	月例テスト
	②	【数C】§8-5 平面ベクトルと平面図形 [1]	数学II B+ベクトル(授業用)	§8-4 ベクトル方程式
	③	【数C】§8-5 平面ベクトルと平面図形 [2]	数学II B+ベクトル(授業用)	§8-5 平面ベクトルと平面図形
6月	①	【数C】§8-6 空間ベクトル	数学II B+ベクトル(授業用)	月例テスト
	②	【数C】§8-7 空間ベクトルと空間図形	数学II B+ベクトル(授業用)	§8-6 空間ベクトル
	③	【数C】§8 発展問題演習	数学II B+ベクトル(授業用)	§8-7 空間ベクトルと空間図形
7月	①	【数B演習】数列①	「数列演習(7月)」テキスト	月例テスト
	②	【数B演習】数列②	「数列演習(7月)」テキスト	-
	③	【数B演習】数列③	「数列演習(7月)」テキスト	-
夏期	①	【数AB演習】場合の数	夏期テキスト	-
	②	【数AB演習】確率	夏期テキスト	-
	③	【数AB演習】確率漸化式	夏期テキスト	-
9月	①	【数III】§1-1 分数関数	数学III C(授業用)	-
	②	【数III】§1-2 無理関数	数学III C(授業用)	§1-1 分数関数
	③	【数III】§1-3 合成関数・逆関数	数学III C(授業用)	§1-2 無理関数
10月	①	【数C】§5-1 複素数平面	数学III C(授業用)	月例テスト
	②	【数C】§5-2 複素数の極形式①	数学III C(授業用)	§5-1 複素数平面
	③	【数C】§5-3 複素数の極形式②	数学III C(授業用)	§5-2 複素数の極形式①
11月	①	【数C】§5-4 複素数平面上の図形	数学III C(授業用)	月例テスト
	②	【数C】§5-4 複素数平面上の図形	数学III C(授業用)	§5-4 複素数平面上の図形
	③	【数C】§6-1 放物線・楕円・双曲線	数学III C(授業用)	§5-4 複素数平面上の図形
12月	①	【数C】§6-2 2次曲線と直線	数学III C(授業用)	月例テスト
	②	【数C】§6-3 媒介変数表示	数学III C(授業用)	§6-2 2次曲線と直線
	③	【数C】§6-4 極座標と極方程式	数学III C(授業用)	§6-3 媒介変数表示
冬期	①	【数C演習】複素数平面①	冬期テキスト	-
	②	【数C演習】複素数平面②	冬期テキスト	-
	③	【数C演習】2次曲線①	冬期テキスト	-
	④	【数C演習】2次曲線②	冬期テキスト	-
1月	①	【数C演習】ベクトル①	「数III C演習(1月・2月)」テキスト	-
	②	【数C演習】ベクトル②	「数III C演習(1月・2月)」テキスト	-
	③	【数III演習】極限①	「数III C演習(1月・2月)」テキスト	-
2月	①	【数III演習】極限②	「数III C演習(1月・2月)」テキスト	月例テスト
	②	【数III演習】微分法①	「数III C演習(1月・2月)」テキスト	-
	③	【数III演習】微分法②	「数III C演習(1月・2月)」テキスト	-

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

高2数学SKγ (数学ⅠⅡABC演習)

対象

難関国公立大や、早慶上智大などの最難関私立大学を目指す生徒。
(数学ⅠⅡABC(ベクトル)を既習の方が対象となります)

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

1学期は数学ⅠⅡABC既習の方を対象に総復習を行います。2学期からはより実戦的な演習に入り、難関大学に必要な考え方や記述力を身につけていきます。単元の垣根を越えて出題されることも多い数学ⅠⅡB分野ですので、さまざまな単元の内容を振り返りながら取り組んでいきます。

受験生になる前の高2の段階で、大学入学共通テストレベルの問題で7割以上の得点を取ることを目標とします。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 高2数学SKγ(前期・後期)

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関大レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習: 次回分の「計算問題」を確認しておきましょう。

授業: 授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

復習: さまざまなパターンの問題をテーマごとに掲載しています。自分の苦手な範囲の問題を中心に演習してください。また詳しい解答・解説のページも設けていますので、解けなかった問題の解法も理解することができます。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 授業テキスト指定題演習(1週間で2時間程度)

授業テキスト内の「演習題」から2～3問、講師からの指定箇所を宿題とします。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り解き、答え合わせまで行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

② 確認テスト・月例テストやりなおし(1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題に関して、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは解き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
確認テスト 15分	諸伝達 5分	講義 25分	演習 15分	解説 10分
		講義 25分	演習 15分	解説 10分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	授業内容	確認テスト
3月	①	【数ⅢABC演習】数と式	-
	②	【数ⅢABC演習】2次関数①	数と式
	③	【数ⅢABC演習】2次関数②	2次関数①
春期	①	【数ⅢABC演習】場合の数	-
	②	【数ⅢABC演習】確率	-
	③	【数ⅢABC演習】図形	-
	④	【数ⅢABC演習】整数	-
4月	①	【数ⅢABC演習】式と証明	-
	②	【数ⅢABC演習】整式の除法、高次方程式	式と証明
	③	【数ⅢABC演習】解と係数の関係	整式の除法、高次方程式
5月	①	【数ⅢABC演習】図形と方程式	月例テスト
	②	【数ⅢABC演習】三角関数	図形と方程式
	③	【数ⅢABC演習】指数・対数関数	三角関数
6月	①	【数ⅢABC演習】微分法①	月例テスト
	②	【数ⅢABC演習】微分法②	微分法①
	③	【数ⅢABC演習】積分法①	微分法②
7月	①	【数ⅢABC演習】積分法②	月例テスト
	②	【数ⅢABC演習】数列①	積分法②
	③	【数ⅢABC演習】数列②	数列①
夏期	①	【数ⅢABC演習】平面ベクトル①	-
	②	【数ⅢABC演習】平面ベクトル②	-
	③	【数ⅢABC演習】空間ベクトル	-
9月	①	【数ⅢABC演習】数と式	-
	②	【数ⅢABC演習】2次関数①	数と式
	③	【数ⅢABC演習】2次関数②、三角比	2次関数①
10月	①	【数ⅢABC演習】図形と計量、場合の数	月例テスト
	②	【数ⅢABC演習】確率①	図形と計量、場合の数
	③	【数ⅢABC演習】確率②	確率①
11月	①	【数ⅢABC演習】整数	月例テスト
	②	【数ⅢABC演習】整式の割り算・高次方程式	整数
	③	【数ⅢABC演習】指数・対数関数	整式の割り算・高次方程式
12月	①	【数ⅢABC演習】三角関数	月例テスト
	②	【数ⅢABC演習】座標平面	三角関数
	③	【数ⅢABC演習】軌跡と領域	座標平面
冬期	①	【数ⅢABC演習】漸化式①	-
	②	【数ⅢABC演習】漸化式②	-
	③	【数ⅢABC演習】数学的帰納法①	-
	④	【数ⅢABC演習】数学的帰納法②	-
1月	①	【数ⅢABC演習】平面ベクトル	-
	②	【数ⅢABC演習】空間ベクトル	平面ベクトル
	③	【数ⅢABC演習】微分法①	空間ベクトル
2月	①	【数ⅢABC演習】微分法②	月例テスト
	②	【数ⅢABC演習】積分法①	微分法②
	③	【数ⅢABC演習】積分法②	積分法①

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

国語科カリキュラム

中学1年～高校3年

国語科指導方針

TW・T 授業の進め方

● 古典知識の早期体得

TWクラスは高1の1年間で現代文・古文・漢文の知識の修得と演習を行い、実際に東京大学をはじめとする最難関大学の問題に対処する知識と解答能力を身につけます。Tクラスは、高1の1年間で古文・漢文の知識基盤を構築します。高1のうちに古典の知識を身につけることで、高2からスムーズに他科目の勉強を進めることが可能になります。古文単語や漢文の頻出漢字などの知識は体得するのに時間を要しますので、高1の間に一通り学習し、高2・高3で繰り返し確認し定着をはかります。

● 添削指導（高2TW・高3）

国立大学を中心とする記述・論述型の問題を扱い、授業内で演習したものを添削指導いたします。制限時間内にどのように論理的思考をし、それをいかに答案に表現するかを体験してもらいつつ、答案作成の方法論を伝えます。現代文では、特に東京大学には頻出単語（所謂キーワード）がありますので、その単語をどのように答案に組み込むかを教授します。古典では逐語訳を旨としつつ、文意に沿った答案を書くための方法を指導します。

● 中学・高校入試で培った国語力の維持

中学・高校入試の際に必死に学んだ国語。四字熟語や慣用句、漢字の知識はこれからの財産となるものです。しかしながら、昨今日常生活で漢字を手で書くことの頻度は減りました。中学・高校入試で培った国語力を風化させない、そのために国語の受講を勧めます。「なあなあ」にせずに「ちゃんと」国語の学習をやり続ける、これがコンセプトです。授業中の制限時間内に問題を解くという習慣を絶やさないと、ということが国語力維持に大きく貢献するはずですが。

● 視野を広げる

東京大学をはじめとした最難関大学の入試には抽象度の高い文章が出題されます。自らの興味関心のみならず焦点化した狭い視野では、入試に出題される文章を理解すること自体が難しく、それを簡潔明瞭に表現するという高いハードルを越えることは不可能です。高2の夏休みに『寝ながら学べる構造主義』という本を読むことを課題とし、掲載されている思想家についての理解を深めます。マルクス、フロイト、ニーチェなど、構造主義者というよりは20世紀の知性に大きな影響を及ぼした三人については概観し、ソシュール、フーコー、レヴィ=ストロース、ラカンについて学びます。わたしたちにとっては自明と思われることも、ある時代のある時点から採用されている考え方だ、ということに触れる経験は皆さんの成長にもつながります。

SK 授業の進め方

● 古文知識の早期体得

高1の1年間で古文の知識基盤を構築します。高1のうちに古文の知識を身につけることで、高2からスムーズに他科目の勉強を進めることが可能になります。古文単語や古文文法などの知識は体得するのに時間を要しますので、高1の間に一通り学習し、高2・高3で繰り返し確認し定着をはかります（漢文の重要性が高い大学の受験を検討している場合はTクラスの受講をおすすめします）。

● 中学・高校入試で培った国語力の維持

中学・高校入試の際に必死に学んだ国語。四字熟語や慣用句、漢字の知識はこれからの財産となるものです。しかしながら、昨今日常生活で漢字を手で書くことの頻度は減りました。中学・高校入試で培った国語力を風化させない、そのために国語の受講を勧めます。「なあなあ」にせずに「ちゃんと」国語の学習をやり続ける、これがコンセプトです。授業内の制限時間内に問題を解くという習慣を絶やさないと、ということが国語力維持に大きく貢献するはずですが。

● 小論文

慶應義塾大学をはじめとして入試に小論文が必要な場合は高3で開講される小論文講座を受講してください。志望別に分けて添削指導を実施しますので、さまざまなニーズに対応可能です。

【6年間の流れ】

	TW・T	SK
中1	現代文は「論理トレーニング」を実施し、「何となく読む」状態からの脱却を目指します。論理を考え出し、論点をまとめ上げ、明快に記述する能力を養います。古文、漢文は有名作品の暗唱を行います。講習会で古文の文法をまとめて扱いますので、講習会を受講していただければ途中合流可能です。	
中2	現代文は共通テスト対策を実施します。資料を適切に読み取り、明快に記述する能力を養います。古文、漢文は有名作品の暗唱をひきつづき行います。講習会で古典の文法をまとめて扱いますので、講習会を受講していただければ途中合流可能です。中2終了時で古典文法の学習は一通り終了します。	
中3	現代文は構造主義の思想を学びます。東大を始めとする最難関大学受験において、有効に働く背景知識を身につけます。古文、漢文は有名作品の暗唱をひきつづき行います。中3の1年間で中1、2の2年間で学習した古典文法を総復習し、知識を完成させます。	
高1	TW 東大をはじめとした最難関大学の合格水準に届く国語力をつけます。現代文の知識を習得することに主軸を置き、古典の知識を定期的に復習します。最難関大学の入試問題を演習できる素地を作ります。	古文を中心に扱います。古文のすべての文法事項を扱いますので、1年間頑張っていたら、古文の基礎的な知識基盤を構築することが可能です。
	T 古文・漢文を扱います。古文・漢文のすべての文法事項を扱いますので、1年間頑張っていたら、古典の知識基盤を構築することが可能です。	
高2	東大をはじめとした最難関大学の合格水準に届く国語力をつけます。現代文の知識を習得することに主軸を置き、古典の知識を定期的に復習します。	古文の文法の復習をしながら、古文の読解と現代文の読解を行います。
高3	東大をはじめとした最難関大学の入試問題を演習します。添削指導によって、記述答案作成力を更に洗練し、総仕上げをします。受講することで、自習時間に国語の勉強をしなくてもよくなり効率的です。宿題は解き直しなどが中心で時間はさほどかかりません（30分～1時間程度）。	早大をはじめとする難関私立大の入試問題を演習します。

【ノート】

早稲アカ用のノートを1冊準備してください。

複数のノートを用意する必要はありませんが、宿題をやるときはどこからどこまでが宿題かわかるように記載してください。テキストへの解答の書き込みは授業内外を問わず禁止です。講師の板書のみならず、口頭で説明した内容も含め、学んだことを貪欲に書き込んでください。鉛筆やシャープペンシルに加え、赤・青・緑のペンをご用意ください。

【宿題の量】

学年・クラスにより多少は変動しますが、概ね以下のような分量の課題を出します。

- ①通常期に関しては授業の復習平均2時間・各種テスト準備平均1時間/週×通常授業30回=90時間程度
- ②長期休暇期間に関しては、春休み、GW、夏休み、冬休みで合計40時間程度

①+②で年間130時間程度の課題を出します。

また①②において「間違い箇所が多い場合」は必然的に「やり直しにかかる時間」が増えます。

【TWのみ】

高2・高3で添削が授業時に行われる場合は、添削が返却されてから、書き直しを実施してください。見て、読んで、おしまい、にすることなく、必ず手を動かすようにしてください。添削答案と模範解答を見比べ、自分の解答作成の手順、目の付け所（換言すべき語をそのまま用いていないか、語彙、文法など）を確認するとともに、自分の解答にない要素で抽出せねばならなかったものはどれかをチェックしてください。

【テスト(高2)】

東大水準模試	7月、12月に実施します。TW/Tクラス選抜試験を兼ねます。TW/Tクラスの受講にはこの試験に合格することが必要です。合格者は科目ごとに選出されますので、単科での受講も可能です。またこの試験を当日3科目受験し、優秀な成績を取めた方は「特待生」の資格が得られます。												
	実施月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
必修テスト	記述型全国模試を6月、9月、11月、2月の年4回受験します。単元学習を離れた実力テストで普段の学習がどの程度定着しているかを判断することができます。												
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
月例テスト	5月より指定月の初回授業冒頭20分間で月例テストを行います。前月学習したテキスト内容から出題されます。合格点は80点が目安です。												
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
確認テスト	各クラスの「カリキュラム」に記載されている「確認テスト」の準備を行ってください。古文単語テスト・漢字テスト・現代文のキーワードテスト(高3のみ)を授業冒頭で実施します。テキストの指定範囲から出題されるものですので、合格点は100点です。1問も間違えないように抜かりなく準備をしてください。毎回のテストに関しては、得点をサクセスダイアリーに記載し、担当講師に報告、検印をもらってください。 長期休暇後にはそれまでの範囲の確認テストを実施しますので、毎回の出題範囲だけでなく、既習範囲の復習も定期的に行うようにしてください。												
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月

高2国語TW

選抜

通常授業(1回)

講習会(1回)

120分

180分

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。
高1で「国語TW」を受講した方を対象とします。

※受講にはTW/Tクラス選抜試験(東大水準模試)への合格が必要です

講座の目的

現代文・古文・漢文を月1回ずつ扱います。

古典分野

東大をはじめとする最難関国公立大の二次試験(記述式)を意識した設問解法の研究と実戦演習を行う講座です。東大をはじめとする最難関大学では「訳す」というよりは「解釈」に近い現代語訳が求められます。本講座ではただ逐語訳するのではなく、作品全体の背景や本文の流れに沿い、適切な語句を補って解釈できるようにするための読解法を伝授します。1年間の授業を通じて、「受験で得点できる解答のつくり方」を身につけましょう。

現代文分野

東大をはじめとする最難関国公立大の二次試験対策として記述問題を多く扱い、記述力・表現力を養います。例年、最難関大学では抽象度の高い論理的文章が出題されています。本文の「構造」を問う問題が頻出で、これらの問題の場合は「型」が定まっているため、解釈の仕方できざまな解答ができてしまう、ということはほとんど起こりません。この「型」を使いこなせるようになることが、現代文で安定的に点数を獲るためにもっとも重要なことです。この「型」を使って解答を作成するにはどのような視点が必要かということについて授業を展開します。

【教材】

※講習会は別テキストです。

■ 高2国語TW(前期・後期)

メインテキストです。現代文・古文・漢文の入試問題が収録されています。

使用法

予習:不要です。

授業:授業内で読解演習を行い、解説を行います。現代文は時間内に読み、考え、書く、ということを実際に体験しながら、方法論を身につけてもらいます。解説時には答案に含めなければならないキーワードの選定ができるよう、ポイントを確認します。古典は授業内演習時に、主語を書き入れる、主語がかわったところには印をつける、分からなくなったところに印をつける、などして解説を聞く際、復習する際のことを考えて集中して行ってください。解説を漫然と聞くのではなく、自分が分からなかったところに自覚的になり、次回演習の際にどんな点に気をつけて読むとわかるのかということを確認するようにしてください。

復習:現代文は授業での解説をもとに本文を読み直し、文章の構造化の仕方を確認してください。また、添削答案と模範解答を見比べ、自分の解答作成の手順、目の付け所を確認するとともに、自分の解答にない要素で抽出せねばならなかったものはどれかチェックしてください。古典はどこが採点基準か、重要単語の訳出などのポイントをもう一度見直ししてください。現代文も古典も記述問題に関しては必ず解き直しを行ってください。疑問点はそのままにせず、担当講師やアシスタスタフに質問してください。

■ 新版完全征服 頻出入試漢字コア2800

頻出漢字を集めた教材です。各月初回以外はテストを実施します。各回の単元をまとめて勉強し、合間の時間に確認して定着させてください。

■ 新版完全征服 合格古文単語380

古文単語帳です。月例テストの回以外はテストを実施します。毎回のテストは試験範囲から25問出題されます。例文を暗記し、文脈に即した訳ができるように対策を講じてください。テスト実施後はダイアリーに得点を記載し、間違えた単語があった場合にはダイアリーに備忘録を記すとともに、テキスト自体にも忘れずに印をつけておくようにしてください。

【宿題】

漢字テスト・古文単語テストの実施回は準備が宿題です。(1日10分毎日)

現代文の回:現代文の記述解答を再度書き直すことが宿題です。書き直したノートを講師がチェックします。(1週間に90分程度)

古典の回:授業内で実施した現代語訳を再度ノートに書いてください。現代語訳を書いたノートを講師がチェックします。(1週間に2時間程度)

月例テストに向けた復習:月例テストは現代文・古文・漢文から出題されます。上記で課された宿題を中心に復習をしてテストに臨んでください。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
確認テスト 10分	解説 5分	諸伝達 5分	導入 20分	演習 30分
			解説 50分	

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	単元	内容	漢字テスト	古文単語テスト
3月	①	【現代文】言語論①	入試問題演習	－	－
	②	【古文】説話①	宇治拾遺物語	1章	1-50
	③	【漢文】形式別演習①	入試問題演習	2章 書く1～12	51-100
春期	①	【現代文】入試演習①	入試問題演習	－	－
	②	【現代文】入試演習②	入試問題演習	－	－
	③	【古文】説話	古本説話集	－	－
	④	【漢文】形式別演習	入試問題演習	－	－
4月	①	【現代文】科学論①	入試問題演習	－	春期課題確認(1～380)
	②	【古文】日記①	蜻蛉日記	2章 書く13～25	101-150
	③	【漢文】形式別演習②	入試問題演習	2章 読む1～4 分かる1～4	151-200
5月	①	【現代文】科学論②	入試問題演習	月例テスト	
	②	【古文】紀行文	庚子道の記	3章 書く1～15	201-250
	③	【漢文】形式別演習③	入試問題演習	3章 書く16～29	251-300
6月	①	【現代文】国民国家論	入試問題演習	月例テスト	
	②	【古文】歌論	石上私淑言	3章 読む1～6 分かる1～4	301-350
	③	【漢文】形式別演習④	入試問題演習	4章	351-380
7月	①	【現代文】文学論	入試問題演習	月例テスト	
	②	【古文】物語①	源氏物語	5章 同音・同訓漢字1～7	1-50
	③	【漢文】形式別演習⑤	入試問題演習	5章 似た形の漢字1～5 間違いやすい漢字	51-100
夏期	①	【現代文】入試演習	入試問題演習	－	－
	②	【古文】物語・日記	伊勢物語など	－	－
	③	【漢文】形式別演習	入試問題演習	－	－
9月	①	【現代文】言語論②	入試問題演習	夏期課題確認(4章～5章)	－
	②	【古文】説話②	続古事談	5章 四字熟語	101-150
	③	【漢文】形式別演習⑥	入試問題演習	1章	151-200
10月	①	【現代文】現代文明批評	入試問題演習	月例テスト	
	②	【古文】歴史書	吾妻鏡	2章 書く1～12	201-250
	③	【漢文】形式別演習⑦	入試問題演習	2章 書く13～25	251-300
11月	①	【現代文】進化心理学	入試問題演習	月例テスト	
	②	【古文】物語②	伊勢物語	2章 読む1～4 分かる1～4	301-350
	③	【漢文】形式別演習⑧	入試問題演習	3章 書く1～15	351-380
12月	①	【現代文】総合演習①	入試問題演習	月例テスト	
	②	【古文】浮世草子	世間胸算用	3章 書く16～29	1-100
	③	【漢文】形式別演習⑨	入試問題演習	3章 読む1～6 分かる1～4	101-200
冬期	①	【現代文】共通テスト型演習	共通テスト対策	－	－
	②	【現代文】入試演習	入試問題演習	－	－
	③	【古文】歴史物語	柴花物語など	－	－
	④	【漢文】形式別演習	入試問題演習	－	－
1月	①	【現代文】総合演習②	入試問題演習	－	冬期課題確認(1～380)
	②	【古文】物語③	源氏物語	4章	201-300
	③	【漢文】形式別演習⑩	入試問題演習	5章 同音・同訓漢字1～7	301-380
2月	①	【現代文】東大入試演習	東京大の過去問題	月例テスト	
	②	【古文】東大入試演習	東京大の過去問題	5章 似た形の漢字1～5 間違いやすい漢字	1-200
	③	【漢文】東大入試演習	東京大の過去問題	5章 四字熟語	201-380

上記カリキュラムの他にも、確認テストを行う場合があります。個人別の課題を設定する場合があります。受講者層と志望大学に応じて、扱う問題を変更する場合があります。

高2国語T

選抜

通常授業(1回)

講習会(1回)

120分

180分

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。
※受講にはTW/Tクラス選抜試験(東大水準模試)への合格が必要です

講座の目的

古典分野

高1までに知識として得た文法を実際の文章の中で応用できる力を養い、最難関大学入試に対応できる学力を高2の2月までに身につけます。そのために、読解演習の中で必要な語彙・背景の知識を覚えます。さらに、文法事項や重要単語の知識をもとに、どこが採点基準になっているのか、という観点から問題をみることを習慣化します。最難関大学で安定的な国語の得点を獲得するためには、古典の得点力が大切です。まずは古典の基盤を固めることを優先して学習を進めます。

現代文分野

現代文は一朝一夕にできるようになるものではありません。問題文を「読む」ためには筆者の主張を、主観に左右されることなく把握する読解力が必要です。自分の主張を「カッコに入れて」、文章と距離を取りながら、読むということが求められます。つぎに記述問題で、採点者を納得させるに十分な答案を作成する表現力が必要です。そのためには「語彙」を身につけることが重要ですが、現代文は古典や外国語と異なり平素の言葉をベースに書かれているため、「語彙」は少なくとも「なんとなくわかる」と軽視されがちです。「語彙」がわからないと「読む」ことはできず、まして「表現する」ことはできないということをまずみなさんに「自覚」してもらってから授業はスタートします。

【教材】※講習会は別テキストです。

■ 高2国語T/高1国語TW 現代文編

使用法

予習:不要です。

授業:授業内で読解演習を行い、解説を行います。カリキュラムに合わせて、段階的に学習が進むように記列した問題を制限時間内に演習します。いくら文章がきちんと読めても、時間内に書き終わらなければ得点にはなりません。時間内に読み、考えて、書く、ということを実際に体験しながら、方法論を身につけてもらいます。まずは、本文中から解答作成に必要な箇所を抽出できることを目指します。

復習:現代文の学習は復習がもっとも重要です。解説を聞いた後、自分に足りない要素はどこだったのかということを確認し、必ず書き直すようにしてください。解説を聞いて終わり、読んで終わり、はダメです。

■ 高2国語T/高1国語TW 入試古文演習

使用法

予習:不要です。

授業:授業内で読解演習を行い、解説を行います。授業内演習の際には、主語を書き入れる、主語がかわったところには印をつける、わからなくなったところに印をつける、などして、解説を聞く際、復習する際のことを考えて集中して行ってください。解説を漫然と聞くのではなく、自分がわからなかったところに自覚的になり、次回演習する際にどんな点に気を付けて読むとわかるのかということを確認するようにして下さい。

復習:現代語訳せよ、と問われた箇所は必ず品詞分解し、品詞ごとに逐一訳してください。可能であれば全文訳をすることをおすすめします。どこでわからなくなったのか、どこに着目すればよかったのか、解説をきいて得た気づきを言語化して残すことを習慣にすると、どういところで自分がつまづくかがわかるようになります。単語帳に載っていないが、本文理解のキーとなる単語がある場合にはノートにまとめを作るようにしてください。

■ 高2国語T/高1国語TW 入試漢文演習

使用法

予習:不要です。

授業:授業内で読解演習を行い、解説を行います。授業内演習の際には、わからなくなったところに印をつける、などして、解説を聞く際、復習する際のことを考えて集中して行ってください。解説を漫然と聞くのではなく、自分がわからなかったところに自覚的になり、次回演習する際にどんな点に気を付けて読むとわかるのかということを確認するようにして下さい。

復習:問題になっていた箇所や句法が使われている箇所は白文で書き下し文にする、さらに現代語訳することをおすすめします。どこでわからなくなったのか、どこに着目すればよかったのか、解説をきいて得た気づきを言語化して残すことを習慣にすると、どういところで自分がつまづくかがわかるようになります。本文理解のキーとなる漢字がある場合にはノートにまとめを作るようにしてください。

■ 新版完全征服 頻出入試漢字コア2800

頻出漢字を集めた教材です。各月初回以外はテストを実施します。各回の単元をまとめて勉強し、合間の時間に確認して定着させてください。

■ 新版完全征服 合格古文単語380

古文単語帳です。月例テストの回以外はテストを実施します。毎回のテストは試験範囲から25問出題されます。例文を暗記し、文脈に即した訳ができるように対策を講じてください。テスト実施後はダイアリーに得点を記載し、間違えた単語があった場合にはダイアリーに備忘録を記すとともに、テキスト自体にも忘れずに印をつけておくようにしてください。

【宿題】

漢字テスト・古文単語テストの実施回は準備が宿題です。(1日10分毎日)

現代文の回:現代文の記述解答を再度書き直すことが宿題です。書き直したノートを講師がチェックします。(1週間に90分程度)

古典の回:授業内で実施した現代語訳を再度ノートに書いてください。現代語訳を書いたノートを講師がチェックします。(1週間に2時間程度)

月例テストに向けた復習:月例テストは現代文・古文・漢文から出題されます。上記で課された宿題を中心に復習をしてテストに臨んでください。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120	
確認テスト 10分	解説 5分	諸伝達 5分	導入・ 読解方法の説明 20分	演習 30分	解説 50分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月別テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	単元	内容	漢字テスト	古文単語テスト
3月	①	【古文】説話①	今昔物語集・古本説話集	-	-
	②	【古文】日記①	土佐日記・蜻蛉日記	1章	1-50
	③	【漢文】説話①	説苑など	2章 書く1~12	51-100
春期	①	【現代文】現代文読解	入試問題演習	-	-
	②	【古文】古文文法の復習と読解演習	入試問題演習	-	-
	③	【漢文】漢文句法の復習と読解演習	入試問題演習	-	-
	④	【古典】古文漢文の応用演習	入試問題演習	-	-
4月	①	【漢文】説話②	蒙求など	-	春期課題確認(1~380)
	②	【現代文】科学	入試問題演習	2章 書く13~25	101-150
	③	【古文】説話②	宇治拾遺物語・十訓抄	2章 読む1~4 分かる1~4	151-200
5月	①	【漢文】史伝①	十八史略・史記	月別テスト	
	②	【現代文】科学	入試問題演習	3章 書く1~15	201-250
	③	【古文】日記②	和泉式部日記・紫式部日記	3章 書く16~29	251-300
6月	①	【漢文】史伝②	史記・春秋左氏伝	月別テスト	
	②	【現代文】社会	入試問題演習	3章 読む1~6 分かる1~4	301-350
	③	【古文】随筆①	枕草子(1)・方丈記(1)	4章	351-380
7月	①	【漢文】史伝③	春秋左氏伝・戦国策	月別テスト	
	②	【現代文】社会	入試問題演習	5章 同音・同訓漢字1~7	1-50
	③	【古文】随筆②	枕草子(2)・徒然草(1)	5章 似た形の漢字1~5 間違いやすい漢字	51-100
夏期	①	【現代文】現代文読解	入試問題演習	-	-
	②	【古文】古文文法の復習と読解演習	入試問題演習	-	-
	③	【漢文】漢文句法の復習と読解演習	入試問題演習	-	-
9月	①	【漢文】文章①	蘇軾・蘇東坡など	夏期課題確認(1章~3章)	-
	②	【現代文】翻訳	入試問題演習	5章 四字熟語	101-150
	③	【古文】随筆③	方丈記(2)・徒然草(2)(3)	1章	151-200
10月	①	【漢文】文章②	顧炎武・陶潜など	月別テスト	
	②	【現代文】AI	入試問題演習	2章 書く1~12	201-250
	③	【古文】物語①	伊勢物語(1)・源氏物語(1)	2章 書く13~25	251-300
11月	①	【漢文】詩	孟浩然・李白など	月別テスト	
	②	【現代文】身体	入試問題演習	2章 読む1~4 分かる1~4	301-350
	③	【古文】物語②	大和物語(1)・源氏物語(2)	3章 書く1~15	351-380
12月	①	【漢文】思想①	論語など	月別テスト	
	②	【現代文】芸術	入試問題演習	3章 書く16~29	漢文語彙テスト
	③	【古文】説話③	古今著聞集・発心集・沙石集	3章 読む1~6 分かる1~4	漢文語彙テスト
冬期	①	【現代文】現代文読解	入試問題演習	-	-
	②	【古文】古文文法の復習と読解演習	入試問題演習	-	-
	③	【漢文】漢文句法の復習と読解演習	入試問題演習	-	-
	④	【古典】古文漢文の応用演習	入試問題演習	-	-
1月	①	【漢文】思想②	孟子など	-	冬期課題確認(1~380)
	②	【現代文】芸術	入試問題演習	4章	漢文語彙テスト
	③	【古文】歌論・近世	俊賴髓脳・三冊子	5章 同音・同訓漢字1~7	漢文語彙テスト
2月	①	【漢文】思想③	韓非子など	月別テスト	
	②	【現代文】虚構	入試問題演習	5章 似た形の漢字1~5 間違いやすい漢字	漢文語彙テスト
	③	【古文】物語③	宇津保物語・落窪物語	5章 四字熟語	漢文語彙テスト

上記カリキュラムの他にも、確認テストを行う場合があります。個人別の課題を設定する場合があります。受講者層と志望大学に応じて、扱う問題を変更する場合があります。

高2国語SK

対象

難関国公立大や、早慶上智大などの最難関私立大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

古典は正確な逐語訳をする力を養います。必要に応じて文脈を追いつつながら、省略語を補って訳す力を身につけつつ、数多くの重要単語・重要文法などの基礎的知識や、時代に応じた古典常識も幅広く扱っていきます。

現代文は抽象度の高い論理的文章の読解をしていきます。ポイントを押さえながら簡潔にまとめる要約ができるように指導します。

学年の終了時における到達度の目安は、必修テストで60～65点程度となります。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 高校新演習スタンダード古典Ⅱ

古典のテキストです。本格的な古文を、単語・文法の知識を踏まえたくうえで論理的に読み解く力を養成します。

使用法

予習:不要です。

授業:読解(演習問題A)の解説を中心に授業は進みます。解説の際に講師が行う板書は、ノートに写してください。

復習:文法がわからない部分が残らないようにノートを参照しながら復習してください。疑問点はそのまますず、授業担当者やアシスタットスタッフに質問してください。宿題は次週の授業時に講師がチェックします。

■ 高校新演習スタンダード現代文Ⅱ

現代文のテキストです。論理的な文章を正確に読んでいきます。記述型の問題では、解法を導くだけでなく、解答の書き方で講師が指導します。

使用法

予習:不要です。

授業:授業内で演習、解説を行います。授業で扱った問題以外の中から宿題が指示されます。

宿題:ノートに指定された問題を解きます。不明な点は解答・解説を読んで理解しましょう。解説を読んでも納得できない箇所は次回の授業で講師に質問するようにしましょう。

■ 新版完全征服 頻出入試漢字コア2800

頻出漢字を集めた教材です。月例テストの回以外は、毎週テストを行います。各回の単元をまとめて勉強し、合間の時間に確認して定着させてください。

■ 新版完全征服 合格古文単語380

古文単語帳です。月例テストの回以外はテストを実施します。毎回のテストは試験範囲から25問出題されます。例文を暗記し、文脈に即した訳ができるように対策を講じてください。テスト実施後はダイアリーに得点を記載し、間違えた単語があった場合にはダイアリーに備忘録を記すとともに、テキスト自体にも忘れずに印をつけておくようにしてください。

【宿題】

漢字テスト・古文単語テストの実施回は準備が宿題です。(1日10分毎日)

現代文の回:授業で扱った問題の解き直しと授業内で取り扱っていない問題演習をノートに行ってください。いずれの場合においても丸付けまでしてきてください。(1週間に90分程度)

古典の回:授業内で実施した現代語訳を再度ノートに書いてください。現代語訳を書いたノートを講師がチェックします。また、演習問題Bを課す場合もあります。(1週間に2時間程度)

月例テストに向けた復習:月例テストは古文・漢文から出題されます。上記で課された宿題を中心に復習をしてテストに臨んでください。また、前月の古文単語テスト・漢字テストの範囲からも出題されます。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
確認テスト 10分	解説 諸伝達 5分 5分	導入・ 読解方法の説明 20分	演習 30分	解説 50分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	単元	内容	漢字テスト	古文単語テスト
3月	①	【古文】説話(1) 用言の確認①	第1講『宇治拾遺物語』	－	－
	②	【古文】説話(2) 用言の確認②	第2講『今昔物語集』	1章	1～30
	③	【現代文】論説・評論(1)	第1講 自然・科学	2章 書く1～12	31～60
春期	①	【古文】古文文法の復習	用言・助動詞の復習	－	－
	②	【古文】日記・物語	古文読解演習	－	－
	③	【古文】説話・随筆	古文読解演習	－	－
	④	【現代文】科学論	評論文読解演習	－	－
4月	①	【古文】説話(3) 助動詞の性質	第3講『古今著聞集』	－	春期課題確認(1～380)
	②	【古文】評論(2) 助動詞の解釈①	第5講『無名抄』	2章 書く13～25	61～90
	③	【現代文】論説・評論(2)	第2講 社会・文化①	2章 読む1～4 分かる1～4	91～120
5月	①	【古文】日記(1) 助動詞の解釈②	第6講『土佐日記』	月例テスト	
	②	【古文】日記(2) 助動詞の解釈③	第7講『更級日記』	3章 書く1～15	121～150
	③	【現代文】論説・評論(3)	第3講 社会・文化②	3章 書く16～29	151～180
6月	①	【古文】随筆(1) 助詞の解釈①	第8講『玉勝間』	月例テスト	
	②	【古文】随筆(2) 助詞の解釈②	第9講『徒然草』	3章 読む1～6 分かる1～4	181～210
	③	【現代文】論説・評論(4)	第4講 言語・哲学	4章	211～240
7月	①	【古文】随筆(3) 敬語の基本	第10講『枕草子』	月例テスト	
	②	【古文】物語(1) 特殊な敬語表現	第11講『竹取物語』	5章 同音・同訓漢字1～7	241～270
	③	【現代文】論説・評論(5)	第5講 文学・芸術	5章 似た形の漢字1～5 間違いやすい漢字	271～300
夏期	①	【古文】古文文法の復習	助詞・識別の復習	－	－
	②	【古文】日記・物語	古文読解演習	－	－
	③	【現代文】文化論	評論文読解演習	－	－
9月	①	【古文】物語(2) 敬語の利用	第12講『源氏物語』	夏期課題確認(1章～3章)	－
	②	【現代文】随想・随筆(1)	第6講 明治～昭和の文学	5章 四字熟語	301～330
	③	【漢文】故事・逸話 再読文字と反語形	第17講	1章	331～360
10月	①	【古文】物語(3) 主語を考えるポイント	第13講『大鏡』	月例テスト	
	②	【現代文】随想・随筆(2)	第7講 現代の文学	2章 書く1～12	361～380
	③	【漢文】思想 使役形と受身形	第18講	2章 書く13～25	1～50
11月	①	【古文】評論(1) 紛らわしい語の識別	第4講『無名草子』	月例テスト	
	②	【現代文】小説(1)	第8講 明治～昭和の文学	2章 読む1～4 分かる1～4	51～100
	③	【漢文】史書 疑問形と反語形①	第19講	3章 書く1～15	101～150
12月	①	【古文】物語(4) 音便や語形変化	第14講『平家物語』	月例テスト	
	②	【現代文】小説(2)	第9講 現代の文学	3章 書く16～29	151～200
	③	【漢文】漢詩 疑問形と反語形②	第20講	3章 読む1～6 分かる1～4	201～250
冬期	①	【古文】古文文法の復習	敬語法の復習・総合問題	－	－
	②	【古文】和歌・歌物語	和歌の修辭の復習と古文読解演習	－	－
	③	【古文】物語・評論	古文読解演習	－	－
	④	【現代文】言語論	評論文読解演習	－	－
1月	①	【古文】歌物語(1) 和歌①	第15講『伊勢物語』	－	冬期課題確認(1～380)
	②	【現代文】演習編 論説・評論(1)	第11講	4章	251～300
	③	【現代文】演習編 論説・評論(2)	第12講	5章 同音・同訓漢字1～7	301～380
2月	①	【古文】歌物語(2) 和歌②	第16講『大和物語』	月例テスト	
	②	【現代文】演習編 随想・随筆	第13講	5章 似た形の漢字1～5 間違いやすい漢字	1～200
	③	【現代文】入試問題演習		5章 四字熟語	201～380

上記カリキュラムの他にも、確認テストを行う場合があります。個人別の課題を設定する場合があります。受講者層と志望大学に応じて、扱う問題を変更する場合があります。

物理 科目の指導方針

TW 授業の進め方

高校物理全単元をほぼ一周します（原子は除く）。完全にゼロからスタートするので、予習は一切必要ありません。すべての物理法則や理論体系が、わずかな基本法則から成り立っていることを実感し、1つ1つの知識を体系的に身につけてもらえるカリキュラムと教材になっています。東大、京大、東京科学大などの最難関大学の入試問題で高得点をとるためには、正確かつ体系的に知識をインプットすることが必要不可欠となります。言葉の定義や、物理法則の成り立ちや意味についての重要性を、授業で強調していきます。学校の教科書や市販の参考書などで、表面的な説明で終わらせている部分についても、数式的な内容も含めて深く掘り下げて説明をしていきます。また、演習の解説では、解法の大きな流れと物理学的根拠に重点を置き解説をしていきます。

「授業+復習+課題」を通して、物理法則や原理について理解を深め、物理学的に重要な内容を含んだテキストの演習を積み重ねる中で、難関大学の入試問題を解くために必要な基礎を固めることを目標とします。

SK 授業の進め方

高校物理全単元をほぼ一周します（磁気分野と原子は除く）。完全にゼロからスタートするので、予習は一切必要ありません。新単元は「導入」→「演習」→「解説」という流れで進めていきます。「導入」では、言葉の定義や、物理法則の成り立ちや意味について、丁寧に説明をしていきます。「演習」では、各単元の典型問題演習を行います。「解説」では、解法の流れと使用する物理法則を確認しながら解説します。そして、授業内容の復習と課題演習を宿題として提示します。授業で理解した内容を本当に自分のものにするためには、知識の確認とある程度演習が必要となります。授業ノートを見返して復習するときは、自分の言葉で補足説明を書き加えながら理解を深めて定着を図って下さい。課題演習の進捗は、授業冒頭で担当講師がチェックします。

「授業+復習+課題」を通して、物理法則や原理について理解を深め、テキストや副教材の演習を積み重ねる中で、難関大学の入試問題を解くために必要な基礎を固めることを目標とします。

化学 科目の指導方針

TW 授業の進め方

- 徹底的な言語化による「化学の世界」の構築

『東大や医学部受験者対象に必要な化学の基本的所作・道具・思考を身につけさせる。』

東京大学をはじめとする最難関大の入試では、教科書や資料集に掲載されている語句や現象そのものを問うのみではなく、未知の物質や現象に対しての分析がテーマとして出題されます。このような問題を解くためには、化学における現象の本質的な理解が必要です。この本質的な理解には、高校化学で扱う語句や現象について「それが指す対象が何物なのか」を自分の言葉で説明できるようにする経験が必要です。

授業では、発問を交えて「語句の定義・式の導出方法の確認」という言語化の部分に重点を置いて導入を進めます。所謂「構造の説明」であるとか「反応の原理」など、原子レベルのミクロな視点から説明されるものですが、必ずしも化学の教科書の用語のみで説明されるものではありません。時には数学的な視点から、時には語学的な視点から、時には歴史的な視点からも切り込むことで理解が深まることもあります。

SK 授業の進め方

- 徹底的な言語化による「化学の世界」の構築

『早慶理工受験者対象に必要な化学の基本的所作・道具・思考を身につけさせる。』

早慶大理系学部の入試は次の2つの特徴があります。「教科書や資料集に掲載されている語句や現象そのものを問うのみではなく、未知の物質や現象に対しての分析がテーマとして出題されること」、「限られた時間内で問題を素早く処理する必要があること」。このような問題に対応するためには、化学における現象の本質的な理解が必要です。この本質的な理解には、高校化学で扱う語句や現象について「それが指す対象が何物なのか」を自分の言葉で説明できるようにする経験が必要であると考えます。

授業では、発問を交えて「語句の定義・式の導出方法の確認」という言語化の部分に重点を置いて導入を進めます。所謂「構造の説明」であるとか「反応の原理」など、原子レベルのミクロな視点から説明されるものですが、必ずしも化学の教科書の用語のみで説明されるものではありません。時には数学的な視点から、時には語学的な視点から、時には歴史的な視点からも切り込むことで理解が深まることもあります。

生物 科目の指導方針

TW 授業の進め方

- 一年間で高校生物のすべての分野を扱います。高校で生物を履修していない生徒も想定して授業を行うので、基礎的な導入からスタートになります。授業の予習は必要ありません。

まずは高校のカリキュラムで習得すべき単元全体を大きく俯瞰する中で、基本的な用語の習得、一般的な生命現象の理解を目標とします。生物で学習する知識量は膨大なものになるので、授業内で時間をかけて1つ1つの生物用語をしっかりと定着させていきます。そして、授業内容の復習と課題演習を宿題として提示します。復習の際は、授業で扱った問題の解き直しをして下さい。課題は、授業で扱わなかった確認問題演習です。

「授業+復習+課題」のサイクルを通じて、難関大学の入試問題を解くために必要な基礎を固めることを目標とします。

【ノート】

■ TW

授業を受けるにあたり、ノートは以下の2冊をご用意ください。

①授業用ノート

授業で扱う講義編のテキストの「例題」「応用例題」を解く際に使用します。知識や理論の導入は、テキストに沿って進めていくので、補足説明はテキストに直接書き込んで下さい。

②課題用ノート

宿題として指定された演習課題を解く際に使用します。宿題は、講義編のテキストの「例題」「応用例題」や、演習編のテキストから指定されます。

■ SK

授業を受けるにあたり、ノートは以下の2冊をご用意ください。

①授業用ノート

授業内の知識や理論導入の板書ノートとして使用します。必要に応じて、先生の口頭説明も書き加えましょう。また、復習する際に、分かりにくい部分については自分の言葉で説明を書き加えて整理しておきましょう。

②課題用ノート

宿題として指定された演習課題を解く際に使用します。宿題は、授業のテキストの「演習」や、副教材の演習問題から指定されます。

【カリキュラム】

	高2			高3		
	〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉	〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉
TW	力学導入	熱力学導入 波動導入	電磁気導入	全分野導入・演習	全分野導入・演習 入試実戦	入試実戦
SK	力学導入	熱力学導入 波動導入	電気導入	全分野導入・演習	全分野導入・演習 入試実戦	入試実戦

【テスト(高2)】

月例テスト	5月より指定月の授業冒頭20分間で月例テストを行います。前月学習した内容から出題されます。合格点は70点が目安です。											
実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
TWクラス選抜	7月・12月に実施します。TWクラスの受講にはこの試験に合格することが必要です。合格者は科目ごとの得点によって選出されますので、単科での受験も可能です。なお、3月からのクラス分けについては前年12月に実施する数学のTW/Tクラス選抜試験で判断します。											
実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月

【ノート】

授業を受けるにあたり、ノートは以下の2冊をご用意ください。

①授業用ノート

授業はテキストを利用して進めていきます。板書の写し、授業内演習に加え補足説明も都度メモを取るようにしましょう。

②演習用ノート

通常授業の宿題、長期課題の宿題を行う演習用のノートです。計算過程も記録し、間違えた問題については不足していた知識をまとめ、解きなおしまいでやりましょう。

【カリキュラム】

	高2			高3		
	〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉	〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉
TW	理論化学導入	無機化学導入	有機化学導入	全分野演習	全分野演習 入試実戦	入試実戦
SK	理論化学導入	無機化学導入	有機化学導入	全分野導入・演習	全分野導入・演習	全分野演習 入試実戦

【テスト(高2)】

月例テスト	5月より指定月の授業冒頭20分間で月例テストを行います。前月学習した内容から出題されます。合格点は70点が目安です。											
実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
TWクラス選抜	7月・12月に実施します。TWクラスの受講にはこの試験に合格することが必要です。合格者は科目ごとの得点によって選出されますので、単科での受験も可能です。なお、3月からのクラス分けについては前年12月に実施する数学のTW/Tクラス選抜試験で判断します。											
実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月

【ノート】

授業用として、ノートを1冊をご用意ください。

授業内の知識や理論導入の板書ノートとして使用します。必要に応じて、先生の口頭説明も書き加えましょう。また、復習する際に、分かりにくい部分については自分の言葉で説明を書き加えて整理しておきましょう。宿題で出る演習課題も、このノートに解きましょう。

【カリキュラム】

	高2			高3		
	〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉	〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉
TW	[生物基礎]導入	[生物]導入	[生物]導入	全分野導入・演習	全分野導入・演習	入試実戦

【テスト(高2)】

月例テスト	該当月の最終授業で月例テストを課題として課し、翌月冒頭で提出してもらいます。前月学習した内容から出題されます。合格点は70点が目安です。											
実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月

高2物理TW 選抜

対象

東大・京大・国公立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

前期は「力学」、後期は「熱力学」「波動」「電磁気」を扱い、数式と現象との対応を紹介します。「物理はイメージである」といった風説は、よくある誤解のひとつです。自然現象は必ずしも人間の直感やイメージに一致するわけではありません。また、力やエネルギーといった用語は日常生活の中でも耳にするため、物理学における定義との差異が不明瞭なものになりがちです。古典物理を題材に、自然科学におけるものの見方を学び、未知の問題にも対処できる確固たる基礎力を養成しましょう。

高2のはじめの時点でベクトルや微積分の基礎について履修済みであることが望ましいですが、必須ではありません。必要な数学については高等学校の課程に縛られず講義内で適宜導入を行います。

【教材】

- 高2物理TW 力学 [講義編] / [演習編] (3月～7月)
- 高2物理TW 力学 [総合演習編] (夏期)
- 高2物理TW 熱力学 [講義編] / [演習編] (9月～10月)
- 高2物理TW 波動 [講義編] / [演習編] (10月～12月)
- 高2物理TW 電磁気 [講義編] / [演習編] (冬期～2月)

使用法

予習:不要です。

授業:担当講師の指示に従って使用してください。

【宿題】

宿題は以下の通りになります。

① 授業内容の復習 (40分程度)

講義編のテキストで新しく登場した「物理用語」「物理法則」「公式・定義式」などの定義や意味を確認し、自分の言葉で他人に説明できるようにしましょう。そして、授業内で扱った「例題」「応用例題」の解き直しをして下さい。また、再度テキストを見るときのことを考え、復習をする際は、理解しにくい部分に自分の言葉で補足説明をテキストに書き加えておきましょう。

② テキストの指定された問題を解く (40分程度)

授業内容に合わせて指定された問題を解いて下さい。講義編のテキストから出題された問題は講義編用のノートに解き、演習編のテキストから指定された問題は課題用のノートに解きましょう。

※宿題の時間は目安であり、重要なことは、授業内容を正確に理解して自力で演習問題が解ける力を身につけることです。

【注釈】

物理用語とは → 「加速度」「相対速度」「位置エネルギー」「電流」など...

物理法則とは → 「運動方程式」「作用反作用の法則」「仕事とエネルギーの関係」など...

公式・定義式とは → 「等加速度運動の公式」「仕事の定義式」「運動エネルギーの定義式」など...

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
前回内容の確認・宿題解説 25分	理論導入・例題解説・演習 90分			諸伝達 5分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回は冒頭で20分のテストを行います。

【カリキュラム】

月	回	分野	内容	使用テキスト	月例テスト
3月	①	力学	等速運動・等加速度運動[1]	高2物理TW 力学 [講義編] / [演習編]	-
	②	力学	等速運動・等加速度運動[2]	高2物理TW 力学 [講義編] / [演習編]	-
	③	力学	相対運動・運動の合成	高2物理TW 力学 [講義編] / [演習編]	-
春期	①	力学	運動方程式[1]	高2物理TW 力学 [講義編] / [演習編]	-
	②	力学	運動方程式[2]	高2物理TW 力学 [講義編] / [演習編]	-
	③	力学	複合問題演習[1]	高2物理TW 力学 [講義編] / [演習編]	-
	④	力学	複合問題演習[2]・流体	高2物理TW 力学 [講義編] / [演習編]	-
4月	①	力学	保存則[1]	高2物理TW 力学 [講義編] / [演習編]	-
	②	力学	保存則[2]	高2物理TW 力学 [講義編] / [演習編]	-
	③	力学	保存則[3]	高2物理TW 力学 [講義編] / [演習編]	-
5月	①	力学	保存則演習[1]	高2物理TW 力学 [講義編] / [演習編]	保存則(運動方程式含む)
	②	力学	保存則演習[2]	高2物理TW 力学 [講義編] / [演習編]	-
	③	力学	保存則演習[3]	高2物理TW 力学 [講義編] / [演習編]	-
6月	①	力学	円運動[1]	高2物理TW 力学 [講義編] / [演習編]	保存則
	②	力学	円運動[2]	高2物理TW 力学 [講義編] / [演習編]	-
	③	力学	剛体	高2物理TW 力学 [講義編] / [演習編]	-
7月	①	力学	万有引力・ケプラー運動	高2物理TW 力学 [講義編] / [演習編]	円運動
	②	力学	単振動[1]	高2物理TW 力学 [講義編] / [演習編]	-
	③	力学	単振動[2]	高2物理TW 力学 [講義編] / [演習編]	-
夏期	①	力学	力学総合演習[1]	高2物理TW 力学 [総合演習編]	-
	②	力学	力学総合演習[2]	高2物理TW 力学 [総合演習編]	-
	③	力学	力学総合演習[3]	高2物理TW 力学 [総合演習編]	-
	④	力学	力学総合演習[4]	高2物理TW 力学 [総合演習編]	-
	⑤	力学	力学総合演習[5]	高2物理TW 力学 [総合演習編]	-
	⑥	力学	力学総合演習[6]	高2物理TW 力学 [総合演習編]	-
9月	①	熱力学	気体分子運動論	高2物理TW 熱力学 [講義編] / [演習編]	-
	②	熱力学	熱力学第1法則	高2物理TW 熱力学 [講義編] / [演習編]	-
	③	熱力学	気体の状態変化[1]	高2物理TW 熱力学 [講義編] / [演習編]	-
10月	①	熱力学	気体の状態変化[2]	高2物理TW 熱力学 [講義編] / [演習編]	気体の状態変化
	②	熱力学	熱サイクル	高2物理TW 熱力学 [講義編] / [演習編]	-
	③	波動	波の基本的性質[1]	高2物理TW 波動 [講義編] / [演習編]	-
11月	①	波動	波の基本的性質[2]	高2物理TW 波動 [講義編] / [演習編]	波の式・グラフ
	②	波動	弦と気柱の振動・共鳴	高2物理TW 波動 [講義編] / [演習編]	-
	③	波動	ドップラー効果	高2物理TW 波動 [講義編] / [演習編]	-
12月	①	波動	光の基本的性質(レンズは除く)	高2物理TW 波動 [講義編] / [演習編]	ドップラー効果
	②	波動	光の干渉[1]	高2物理TW 波動 [講義編] / [演習編]	-
	③	波動	光の干渉[2]	高2物理TW 波動 [講義編] / [演習編]	-
冬期	①	電磁気	電場と電位[1]	高2物理TW 電磁気 [講義編] / [演習編]	-
	②	電磁気	電場と電位[2]・電流と抵抗	高2物理TW 電磁気 [講義編] / [演習編]	-
	③	電磁気	コンデンサー[1]	高2物理TW 電磁気 [講義編] / [演習編]	-
	④	電磁気	コンデンサー[2]	高2物理TW 電磁気 [講義編] / [演習編]	-
1月	①	電磁気	直流通路(非線形抵抗を含む)	高2物理TW 電磁気 [講義編] / [演習編]	-
	②	電磁気	電流と磁場	高2物理TW 電磁気 [講義編] / [演習編]	-
	③	電磁気	荷電粒子の運動	高2物理TW 電磁気 [講義編] / [演習編]	-
2月	①	電磁気	電磁誘導[1]	高2物理TW 電磁気 [講義編] / [演習編]	直流通路・荷電粒子の運動
	②	電磁気	電磁誘導[2]	高2物理TW 電磁気 [講義編] / [演習編]	-
	③	電磁気	電磁誘導[3]	高2物理TW 電磁気 [講義編] / [演習編]	-

クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。受講者層と志望大学に応じて、扱う問題を変更する場合があります。

高2物理SK

対象

国立大・早慶上智大などの難関大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

物理は導入が非常に大事です。基本的なことから、毎回の授業で理論をしっかり導入していきます。物理的な性質の理解に重点を置きながら、演習を多く取り入れ、計算力も養います。公式パターン主義ではなく、物理的な思考力を身に付けます。高2の終わりの段階もしくは高3の初めの全国模試で、偏差値58以上を取ることを目標とします。

【教材】

- 物理SK 力学 [基本編] (3月~7月)
- 物理SK 力学 [総合演習編] (夏期)
- 物理SK 熱力学・波動 [基本編] (9月~12月)
- 物理SK 電気 [基本編] (冬期~2月)

授業内で使用するメインテキストです(「理論導入+例題+演習」で活用)。また、翌週同範囲の「確認テスト」を行います。

使用法

予習:不要です。

授業:担当講師の指示に従って使用してください。

■ 物理のエッセンス 力学・波動

■ 物理のエッセンス 電磁気・熱・原子

高2物理SKのサブテキストです。各単元の基本事項がまとめられています。

使用法

予習:不要です。

授業:担当講師の指示に従って使用してください。

【宿題】

宿題は以下の通りになります。

① 授業内容の復習 (40分程度)

授業で新しく登場した「物理用語」「物理法則」「公式・定義式」などの定義や意味を確認し、自分の言葉で他人に説明できるようにしましょう。そして、授業内で扱った「例題」「演習」の解き直しをして下さい。演習問題の解き直しをする際は、その問題を解く上で必要な知識と、解法の大きな流れを整理しておきましょう。

② メインテキストとサブテキストの指定された問題を解く (40分程度)

授業内容に合わせて指定された問題を解いて下さい。課題用ノートに解きましょう。

※宿題の時間は目安であり、重要なことは、授業内容を正確に理解して自力で演習問題が解ける力を身につけることです。

【注釈】

物理用語とは → 「加速度」「相対速度」「位置エネルギー」「電流」など...

物理法則とは → 「運動方程式」「作用反作用の法則」「仕事とエネルギーの関係」など...

公式・定義式とは → 「等加速度運動の公式」「仕事の定義式」「運動エネルギーの定義式」など...

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
確認テスト 15分	理論導入・例題解説・演習 100分			諸伝達 5分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回は冒頭で20分のテストを行います。

【カリキュラム】

月	回	分野	内容	使用テキスト	月例テスト
3月	①	力学	等速運動・等加速度運動[1]	物理SK 力学 [基本編]	-
	②	力学	等速運動・等加速度運動[2]	物理SK 力学 [基本編]	等速運動・等加速度運動[1]
	③	力学	相対運動・運動の合成	物理SK 力学 [基本編]	等速運動・等加速度運動[2]
春期	①	力学	運動方程式[1]	物理SK 力学 [基本編]	-
	②	力学	運動方程式[2]	物理SK 力学 [基本編]	運動方程式[1]
	③	力学	複合問題演習[1]	物理SK 力学 [基本編]	運動方程式[2]
	④	力学	複合問題演習[2]	物理SK 力学 [基本編]	-
4月	①	力学	剛体	物理SK 力学 [基本編]	-
	②	力学	等加速度運動と運動方程式の復習[1]	物理SK 力学 [基本編]	剛体
	③	力学	等加速度運動と運動方程式の復習[2]	物理SK 力学 [基本編]	等加速度運動と運動方程式の復習[1]
5月	①	力学	仕事とエネルギー[1]	物理SK 力学 [基本編]	月例テスト(運動方程式)
	②	力学	仕事とエネルギー[2]	物理SK 力学 [基本編]	仕事とエネルギー[1]
	③	力学	力積と運動量[1]	物理SK 力学 [基本編]	仕事とエネルギー[2]
6月	①	力学	力積と運動量[2]	物理SK 力学 [基本編]	月例テスト(保存則)
	②	力学	円運動[1]	物理SK 力学 [基本編]	力積と運動量[2]
	③	力学	円運動[2]	物理SK 力学 [基本編]	円運動[1]
7月	①	力学	万有引力・ケプラー運動	物理SK 力学 [基本編]	月例テスト(円運動)
	②	力学	単振動[1]	物理SK 力学 [基本編]	万有引力・ケプラー運動
	③	力学	単振動[2]	物理SK 力学 [基本編]	単振動[1]
夏期	①	力学	総合演習[1]	物理SK 力学 [総合演習編]	-
	②	力学	総合演習[2]	物理SK 力学 [総合演習編]	-
	③	力学	総合演習[3]	物理SK 力学 [総合演習編]	-
9月	①	熱力学	熱力学の諸法則	物理SK 熱力学・波動 [基本編]	-
	②	熱力学	気体の状態変化	物理SK 熱力学・波動 [基本編]	熱力学の諸法則
	③	熱力学	熱サイクル[1]	物理SK 熱力学・波動 [基本編]	気体の状態変化[1]
10月	①	熱力学	熱サイクル[2]	物理SK 熱力学・波動 [基本編]	月例テスト(気体の状態変化)
	②	熱力学	気体分子運動論	物理SK 熱力学・波動 [基本編]	熱サイクル
	③	波動	波の基本的性質[1]	物理SK 熱力学・波動 [基本編]	気体分子運動論
11月	①	波動	波の基本的性質[2]	物理SK 熱力学・波動 [基本編]	月例テスト(波の式・グラフ)
	②	波動	弦と気柱の振動・共振	物理SK 熱力学・波動 [基本編]	波の基本的性質[2]
	③	波動	ドップラー効果	物理SK 熱力学・波動 [基本編]	弦と気柱の振動・共振
12月	①	波動	光の基本的性質(レンズは除く)	物理SK 熱力学・波動 [基本編]	月例テスト(ドップラー効果)
	②	波動	光の干渉[1]	物理SK 熱力学・波動 [基本編]	光の基本的性質(レンズは除く)
	③	波動	光の干渉[2]	物理SK 熱力学・波動 [基本編]	光の干渉[1]
冬期	①	電気	電場と電位[1]	物理SK 電気 [基本編]	-
	②	電気	電場と電位[2]	物理SK 電気 [基本編]	電場と電位[1]
	③	電気	コンデンサー[1]	物理SK 電気 [基本編]	電場と電位[2]
	④	電気	コンデンサー[2]	物理SK 電気 [基本編]	抵抗・コンデンサー[1]
1月	①	電気	電流・直流回路	物理SK 電気 [基本編]	-
	②	電気	直流回路～RC回路	物理SK 電気 [基本編]	電流・直流回路
	③	電気	直流回路～非線形抵抗	物理SK 電気 [基本編]	直流回路～RC回路
2月	①	電気	総合演習[1]	物理SK 電気 [基本編]	月例テスト(コンデンサー)
	②	電気	総合演習[2]	物理SK 電気 [基本編]	-
	③	電気	総合演習[3]	物理SK 電気 [基本編]	-

クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。受講者層と志望大学に応じて、扱う問題を変更する場合があります。

高2化学TW 選抜 / SK



TW: 東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。
SK: 国立大・早慶上智大などの難関大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

■ 高2化学TW

1年間で理論・無機・有機(高分子化合物は除く)の3分野すべてを扱います。化学の言葉の定義、それが指す対象が何物なのかを確実に習得させます。これを基盤として、さまざまな関係式の利用法を会得すると同時に、東大をはじめとした最難関大学に合格するのに必要な化学観の醸成を目的とします。

■ 高2化学SK

1年間で理論・無機・有機(高分子化合物は除く)の3分野すべてを扱います。化学の言葉の定義と、さまざまな関係式の利用法を中心に勉強し、基本的な問題であれば確実に解答できる能力を養成します。

【教材】

■ 高2化学TW/SK 理論化学上・下(3月~9月)

■ 高2化学TW/SK 無機化学(10月~冬期)

■ 高2化学TW/SK 有機化学(冬期~2月)

授業内で使用するメインテキストです。

使用法

予習: 不要です。

授業: 担当講師の指示に従って使用してください。

■ エクセル化学[総合版]

宿題に使用する問題演習用のテキストです。

使用法

各回の授業にて講師から範囲が指定されますので、次回の授業までに解いてくるようにしてください。

【宿題】

宿題は以下の通りになります。

① 授業ノートの見直し(翌日までに30分程度)

まずは授業内で扱った用語や法則について、ノートを見なくても一つひとつが「どういう定義で」「なぜ成立するのか」を説明できるようになるまで反復して読み込んでください。授業では高校化学範囲で用いる用語や法則の定義について、根源的な成り立ちや日常生活との関わり・他分野や他単元との関わりを具体的に説明しますから、それらも含めて自分の言葉で言い換えられるようになります。くれぐれも細かい知識だけ知っている状態にとどめないようにしてください。

② エクセル化学[総合版]の指定された問題を解く(1時間程度)

①で身に付けた用語や法則の知識をもとに問題を宿題用ノートに解きます。答え合わせをし、不足していた知識を自分でまとめたうえで、必ず解き直していきましょう。毎回の授業で担当講師に提出します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
前回内容 確認テスト 10分	解説 5分	諸伝達 5分	理論導入、典型問題演習&解説 75分	問題演習&解説 25分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	分野	内容	使用テキスト	確認・月例テスト
3月	①	理論化学	物質の探究	高2化学TW/SK理論化学上	—
	②	理論化学	原子の構造	高2化学TW/SK理論化学上	物質の探究
	③	理論化学	元素の性質と化学結合	高2化学TW/SK理論化学上	原子の構造
春期	①	理論化学	結晶	高2化学TW/SK理論化学上	元素の性質と化学結合
	②	理論化学	原子量と物質質量、化学反応式、密度の計算	高2化学TW/SK理論化学上	結晶
	③	理論化学	物質の三態、濃度の種類、溶解度	高2化学TW/SK理論化学上	原子量と物質質量、化学反応式、密度の計算
	④	理論化学	沸点上昇・凝固点降下	高2化学TW/SK理論化学上	物質の三態、濃度の種類、溶解度
4月	①	理論化学	気体の法則・気体の状態方程式	高2化学TW/SK理論化学上	沸点上昇、凝固点降下
	②	理論化学	混合気体と気体の状態方程式	高2化学TW/SK理論化学上	気体の法則、気体の状態方程式
	③	理論化学	蒸気圧と気体の状態方程式	高2化学TW/SK理論化学上	混合気体と気体の状態方程式
5月	①	理論化学	実在気体、ヘンリーの法則	高2化学TW/SK理論化学上	月例テスト
	②	理論化学	浸透圧、コロイド	高2化学TW/SK理論化学上	実在気体、ヘンリーの法則
	③	理論化学	エンタルピー	高2化学TW/SK理論化学下	浸透圧、コロイド
6月	①	理論化学	ヘスの法則	高2化学TW/SK理論化学下	月例テスト
	②	理論化学	結合エネルギー、エントロピーとギブズエネルギー	高2化学TW/SK理論化学下	ヘスの法則
	③	理論化学	反応速度論	高2化学TW/SK理論化学下	結合エネルギー、エントロピーとギブズエネルギー
7月	①	理論化学	化学平衡とルシャトリエの法則	高2化学TW/SK理論化学下	月例テスト
	②	理論化学	圧平衡定数	高2化学TW/SK理論化学下	化学平衡とルシャトリエの法則
	③	理論化学	理論化学演習	—	圧平衡定数
夏期	①	理論化学	酸・塩基とPHの定義	高2化学TW/SK理論化学下	—
	②	理論化学	電離平衡、中和反応と塩	高2化学TW/SK理論化学下	酸・塩基とPHの定義
	③	理論化学	遊離反応・緩衝液、中和滴定	高2化学TW/SK理論化学下	電離平衡、中和反応と塩
	④	理論化学	酸化還元	高2化学TW/SK理論化学下	遊離反応・緩衝液、中和滴定
	⑤	理論化学	酸化還元滴定	高2化学TW/SK理論化学下	酸化還元
	⑥	理論化学	理論化学演習	—	酸化還元滴定
9月	①	理論化学	イオン化傾向、電池の基本性質	高2化学TW/SK理論化学下	—
	②	理論化学	実用電池	高2化学TW/SK理論化学下	イオン化傾向、電池の基本性質
	③	理論化学	電気分解	高2化学TW/SK理論化学下	実用電池
10月	①	無機化学	水素、18族、17族	高2化学TW/SK無機化学	月例テスト
	②	無機化学	16族	高2化学TW/SK無機化学	水素、18族、17族
	③	無機化学	15族	高2化学TW/SK無機化学	16族
11月	①	無機化学	14族、気体の製法と性質	高2化学TW/SK無機化学	月例テスト
	②	無機化学	1族、2族(1)	高2化学TW/SK無機化学	14族、気体の製法と性質
	③	無機化学	2族(2)、両性元素	高2化学TW/SK無機化学	1族、2族(1)
12月	①	無機化学	遷移金属	高2化学TW/SK無機化学	月例テスト
	②	無機化学	沈澱反応、錯イオン	高2化学TW/SK無機化学	遷移元素
	③	無機化学	金属元素の分類・特定	高2化学TW/SK無機化学	沈澱反応、錯イオン
冬期	①	有機化学	有機化合物の基本性質、異性体	高2化学TW/SK有機化学	—
	②	有機化学	脂肪族炭化水素	高2化学TW/SK有機化学	有機化合物の基本性質、異性体
	③	有機化学	アルコール、エーテル、アルデヒド、ケトン	高2化学TW/SK有機化学	脂肪族炭化水素
	④	有機化学	カルボン酸、エステル	高2化学TW/SK有機化学	アルコール、エーテル、アルデヒド、ケトン
1月	①	有機化学	油脂	高2化学TW/SK有機化学	脂肪族化合物の基本
	②	有機化学	構造決定問題演習	高2化学TW/SK有機化学	油脂
	③	有機化学	芳香族化合物、フェノール	高2化学TW/SK有機化学	構造決定問題演習
2月	①	有機化学	芳香族カルボン酸、アミン	高2化学TW/SK有機化学	芳香族化合物、フェノール
	②	有機化学	芳香族化合物の構造決定と分離	高2化学TW/SK有機化学	芳香族カルボン酸、アミン
	③	有機化学	有機化学演習(~芳香族)	高2化学TW/SK有機化学	芳香族化合物の構造決定と分離

クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。受講者層と志望大学に応じて、扱う問題を変更する場合があります。

高2生物TW

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

1年間ですべての分野を導入から扱います。生物の言葉の定義はもちろんのこと、生物現象がどのようにして成り立っているのかを正しく理解し説明できるようにします。将来論述に必要な能力を養成し、最難関大学合格を目指します。

【教材】

■ 高校新演習スタンダード生物基礎(3月～6月)

■ 高校新演習スタンダード生物(6月～2月)

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業内の演習や宿題として設定します。授業の際には必ず持ってくるようにしてください。

復習:授業内で扱ったテーマについて、基礎問題、類題演習を必ず行ってください。どのテーマを宿題として設定するかは授業内で指定するので、担当講師の指示に従ってください。

【宿題】

宿題は以下の通りになります。

① 授業内容の復習

ノートを見返しながら授業内容の復習をして下さい。復習をする際は、理解しにくい部分に自分の言葉で補足説明を書き加えておきましょう。

② テキストの指定された問題を解く

授業内容に合わせて指定された問題を解いて下さい。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
諸伝達 5分	講義 80分			演習 20分
				解説 15分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	分野	単元	内容	月例テスト
3月	①	生物基礎	生物の特徴	第1講 光学顕微鏡・細胞研究の歴史	-
	②	生物基礎	生物の特徴	第2講 生物の多様性と共通性・生物の共通性としての細胞	-
	③	生物基礎	生物の特徴	第3講 エネルギーと代謝	-
春期	①	生物基礎	生物の特徴	第4講 呼吸と光合成	-
	②	生物基礎	遺伝子とその働き	第5講 遺伝情報とDNA	-
	③	生物基礎	遺伝子とその働き	第6講 遺伝情報の複製と分配	-
	④	生物基礎	遺伝子とその働き	第7講 遺伝情報の発現	-
4月	①	生物基礎	ヒトのからだの調節	第8講 体内環境としての体液	-
	②	生物基礎	ヒトのからだの調節	第9講 自律神経系と内分泌系	-
	③	生物基礎	ヒトのからだの調節	第10講 恒常性の維持	-
5月	①	生物基礎	ヒトのからだの調節	第11講 免疫のはたらき	月例テスト
	②	生物基礎	生物の多様性と生態系	第12講 植生と遷移	-
	③	生物基礎	生物の多様性と生態系	第13講 植生の分布とバイオーム	-
6月	①	生物基礎	生物の多様性と生態系	第14講 生態系と生物の多様性	月例テスト
	②	生物基礎	生物の多様性と生態系	第15講 生態系のバランスと保全	-
	③	生物	生物の進化	第1講 生命の起源と細胞の進化	-
7月	①	生物	生物の進化	第2講 DNAの構造と複製	月例テスト
	②	生物	生物の進化	第3講 遺伝子の組み合わせの変化	-
	③	生物	生物の進化	第4講 進化のしくみ	-
夏期	①	生物	生物の進化	第5講 生物の系統(ドメインレベルの分類)	-
	②	生物	生物の進化	第6講 生物の系統(界や門レベルの分類)	-
	③	生物	生物の進化	第7講 人類の系統と進化	-
9月	①	生物	生命現象と物質	第8講 生物物質と細胞	-
	②	生物	生命現象と物質	第9講 生命現象とタンパク質(1)	-
	③	生物	生命現象と物質	第10講 生命現象とタンパク質(2)	-
10月	①	生物	生命現象と物質	第11講 呼吸と発酵の過程	月例テスト
	②	生物	生命現象と物質	第12講 光合成と化学合成	-
	③	生物	遺伝情報の発現と発生	第13講 遺伝情報とその発現	-
11月	①	生物	遺伝情報の発現と発生	第14講 遺伝子の発現調節	月例テスト
	②	生物	遺伝情報の発現と発生	第15講 ウニとカエルの発生	-
	③	生物	遺伝情報の発現と発生	第16講 発生の制御と遺伝子発現	-
12月	①	生物	遺伝情報の発現と発生	第17講 ショウジョウバエの発生	月例テスト
	②	生物	遺伝情報の発現と発生	第18講 遺伝子を扱う技術	-
	③	生物	生物の環境応答	第19講 受容器	-
冬期	①	生物	生物の環境応答	第20講 神経系	-
	②	生物	生物の環境応答	第21講 効果器	-
	③	生物	生物の環境応答	第22講 動物の行動	-
	④	生物	生物の環境応答	第23講 植物の環境応答(1)・第24講 植物の環境応答(2)	-
1月	①	生物	生物の環境応答	第25講 個体群	-
	②	生物	生物の環境応答	第26講 生物群集	-
	③	生物	生物の環境応答	第27講 生物多様性	-
2月	①	生物	生物の環境応答	第28講 生態系の物質生産と物質循環	月例テスト
	②	生物	生物の環境応答	第29講 窒素代謝	-
	③	生物	生物の環境応答	第30講 人間活動が生態系に与える影響	-

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。 また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

社会科カリキュラム

高校2年～3年

日本史 科目の指導方針

- 東大で3/4を占める前近現代の範囲を高2で完成させる
高2では前近代史（原始～江戸時代）に時間をかけて深く学習します。知識の暗記に追われることなく、東大をはじめとした難関大で必要とされる歴史的な思考力や考察力を涵養するためには、十分な時間の確保が必要であると考えられます。本格的な論述演習は高3からとなりますが、東大日本史の第1～3問の範囲（45点分）である古代～近世の学習を、高2の間で終え、この段階で20点台を確保できる状態を目指します。
- 歴史的思考・考察力を涵養する授業
知識の暗記だけでは、最難関大学の要求する思考力や考察力を高めることはできません。高2日本史の授業では、カリキュラムのゆとりを活かし、歴史事象がなぜ、どのようにして起こったか、それが後世にどのように影響してくるのかを丁寧に解説します。この際、歴史史料にも触れ、発問と思考及びその共有を通じて、時代の特徴を自身の力で再構成する練習を積み重ねていきますので、東大をはじめとする最難関大学の入試問題に対応する力が身につくのはもちろん、文章の読解力の養成にもつながるため英語・国語・小論文の成績向上にも効果があります。
- 学び得た知識を得点力に変える
最難関私立大学の入試問題に対応するためには、知識のインプットとアウトプットが大切です。よって、毎回の授業で確認テストを行い、知識の定着度合いをチェックします。また、指定教材やテキストに収録された演習問題を宿題として課し、自宅学習の状況も授業担当がチェックします。

世界史 科目の指導方針

- 歴史用語の暗記だけでなく、各時代の特徴を一般化し他時代・他地域との比較を行う独自のコンセプト
高2では他塾や高校の授業でよくみられる用語の説明を主体にした講義だけではなく、例えば灌漑農耕と労働形態から生まれる権力構造の特徴、及び文明の展開パターンの説明を通じて、抽象化・一般化して理解する力を養成していきます。また、こうして得られた知見をもとに、文明同士の特徴の比較対照なども行っていきます。このような、自学の極めて難しい部分を授業で練成することにより、東大をはじめとする最難関国公立大学の入試問題に対応できる視点を涵養するため、高2からの受講を強くお勧めします。
- 発問によって主体的な思考力・分析力を培う
思考力や分析力、理解した内容を一般化する力は、説明を聞いているだけでは身につけません。発問による双方向型の授業であることを活かし、「なぜそうなのか」・「次にどのようなことが起きると予測できるか」・「両者の違いは何か」などを問いかけ、受講生が主体的に思考・分析する力を養成し、それを習慣づけしていきます。こうすることで、例えば東大や共通テストの問題において未知の資料を目にした時、自力で既知の内容と結び付けることが容易となり、得点力・応用力へとつながっていきます。またこのような力は、英語や国語、小論文など他科目の理解力・得点力向上にもつながるでしょう。
- 古代～現代（1989年）までを扱うカリキュラム
上記のコンセプトのもと、古代～現代までの歴史展開の概観を高2段階で学習し終えることにより、普遍的な理解ができた状態で高3を迎えることができます。そのため、知識事項の定着や論述対応において大きなアドバンテージとなります。

地理 科目の指導方針

- 高2で全範囲が終了するカリキュラム
高校2年生より地理を開講し、受験に必要な範囲を全て終了させます。高2から地理を開講する塾は少ないですが、その中でも高2で受験の全範囲が完了する集団授業型の塾は、早稲田アカデミーだけと言っていいでしょう。
- 最上位校だけを意識した、ムダ・ムラのない内容
最難関大合格に焦点を絞り、発問による双方向授業で地理の得点力向上に必要な「思考する習慣」や「資料分析力」を養成します。
- 無理なく定着させる設計
12月～2月は演習授業となりますので、学校より早いカリキュラムを無理なく復習・消化できます。
- 高2でも得点力を養成でき、高3では得点源にできる
演習もふんだんに行うことで、高2段階でも最難関大合格に必要な得点力の土台作りができます。これを踏まえて高3の東大必勝などで良質な演習を積み重ねることにより、東大地理で7割＝42点という合格に必要な得点力を着実に身につけ、さらに上積みを作ることも可能になります。地理で最難関大合格を目指すにあたり極めて有効な授業ですので、高2での地理TW受講を強くお勧めします。

【2年間の流れ】

高2では前近代史（原始～江戸時代）を扱います。1学期に古代、夏期講習会から2学期にかけて中世武家社会、12月以降は近世を学習します。高2生から受講することで、歴史的な思考を早い段階から習得でき、学習の方法を確立させることができます。高3では、明治時代以降の近現代を扱う講座と、高2で学んだ前近代史を再度扱う講座の2つが開講されます。

【ノート】

課題提出用として、ノートを1冊用意してください。

授業内容を記録するものはルーズリーフでも構いませんが、課題提出用のノートとは分けるようにしてください。

【テスト（高2）】

TWクラス選抜	高3から東大をはじめとする最難関大学志望者対象のTWクラスの受講を希望する場合は、12月に実施される選抜試験に合格する必要があります。高2日本史での学習内容からの出題が中心（近現代史からの出題もあり）です。授業の復習を怠ることなく試験に臨むようにしましょう。													
月例テスト	5月より指定月の授業冒頭20分間で月例テストを行います。出題範囲は前月学習した内容です。合格点は80点が目安です。													
実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		
確認テスト	前回の授業内容を踏まえた復習確認テストです。授業内容が家庭学習で復習できているか、定着しているかを授業冒頭でテストします。講師の板書ノート、補足プリント、メイン教材の宿題範囲を十分に見直して挑みましょう。合格の目安は80点です。													

【2年間の流れ】

高2では古代（先史時代）から現代（1989年）までを扱います。1学期に古代と中国の明清帝国、イスラーム世界（全て）、夏期講習会から2学期にかけてヨーロッパ中世～近代史、1月から2月で近代～現代史を学習します。高2から受講することで、学習方法を早くから確立することができるようになります。また歴史の仕組みや重要事項同士の因果関係といった自学しにくい視点も学ぶことができます。高3では高2で培った視点の確認と応用、論述対策を行う東大志望者対象のTWと、通史の講義を行う東大以外の難関国公立大学や難関私立大学志望者対象のSKクラスが開講されます。

【ノート】

早稲アカ用のノートを1冊準備してください。

基本的に授業中はテキストに書き込むので宿題をやるときに使用してください。

【テスト（高2）】

TWクラス選抜	高3から東大志望者対象のTWクラス受講希望の場合は、12月に実施される選抜試験に合格する必要があります。古代または近代の選択制です。高2世界史内容と学校内容の復習を怠ることなく試験に臨みましょう。													
月例テスト	5月より指定月の初回授業冒頭で月例テストを行います。出題範囲は前月学習した内容です。合格点は80点が目安です。													
実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		

【2年間の流れ】

自然環境から始めて人口・都市・産業など入試全範囲を1年間で網羅し、東大をはじめとする最難関大合格に必要な知識を完成させます。夏期講習会で8時間強、冬期講習会で11時間強の復習・演習の機会も設けてあるため、消化不良に陥ることなく、重要語句のインプット・資料分析力の獲得・解答能力の向上を高校3年生になる前に成し遂げることが可能です。この授業を受けてインプットが完了すると、高校3年生の始めから最難関大の入試演習に取り組むことができるため、受験地理で現役生が陥りがちな「演習量不足」という問題が解消されるのはもちろん、余裕をもって東大合格レベルまで到達することが可能になります。なお、高校2年生において地理を通年で受講した場合、高3での地理受講は講習会を除き原則不要です。

【ノート】

早稲アカ用のノートを1冊準備してください。

複数のノートを用意する必要はありませんが、宿題をやるときはどこからどこまでが宿題かわかるように記載してください。

【テスト（高2）】

月例テスト	5月より指定月の授業冒頭20分間で月例テストを行います。出題範囲は前月学習した内容です。合格点は80点が目安です。													
実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		

高2日本史

対象

大学受験において地歴の選択科目で日本史を必要とする生徒。国立(大学入学共通テスト・二次)から私立大入試問題など、学校の授業よりも高度な内容を学習したい生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

高2から本格的な受験勉強としての日本史に取り組み、1年間で前近代史(旧石器～江戸時代)の学習を完了させます。授業では、東大をはじめとする最難関国公立大で問われる歴史的思考力や考察力を涵養して論述問題に対する地盤を構築します。また、早慶上智をはじめとする私立最難関大にも対応できるよう、知識のインプットやアウトプットにも力を入れて取り組み、定着度合いを毎回の授業で行われる確認テストでチェックします。到達目標は、東大レベルの模擬試験の日本史で、高2終了段階で20点以上取れるようになることです。また、私立難関大志望者であれば、高3の6月に実施される必修テスト(塾内模試)で70～75点(偏差値60相当)を目指します。

【教材】

■高2日本史 前期(講義編)・後期(講義編) ※春期・夏期は前期テキスト、冬期は後期テキストを使用します。

本講座のメインテキストです。講義・解説部分を用いて歴史の流れや入試の出題ポイントを解説します。テキストは書き込みができるようになっていますので、講師が板書した内容はもちろん、口頭で説明したことも積極的にメモを取るようにしましょう。

■高2日本史 前期(確認テスト編)・後期(確認テスト編)

確認テストの問題冊子です。確認テストは授業内で解答する時間を設けていますので、事前に自宅で解いてくる必要はありません。授業の際は、講義編テキストとともに必ず持参してください。授業進度に準拠した問題が収録されていますが、必ずしも前回の授業内容だけが出題されるとは限らず、既習範囲で関連性の高いものも出題されます。テスト後は、間違えた問題については必ず解き直して、不明点は講師やアシスタスタフに質問して次回の授業までに解決するようにしましょう。

■実力をつける日本史100題

本講座で学習した単元を定着させるための問題集です。入試問題を想定した構成となっており、問題数・解説ともに適量で、難易度も難しすぎず取り組みやすいレベル感です。記述問題が多く、用語暗記系の問題集としても活用できます。高3生でも活用できるくらい汎用性の高い問題集です。テキストやノートで学習事項を復習した後に取り組んでもらいますので、主に宿題(家庭学習)用教材として使用することになります。

■教科書・用語集

直接、講義では使用しませんが、必要に応じて用意すると学習効果が期待できます。

- ・教科書:東大・国公立大志望者には『日本史探究 詳説日本史』(山川出版社)を推奨しますが、基本的には学校で使用しているもので構いません。毎回の授業の前に右記カリキュラムを確認して、該当部分を読んでくることで授業での理解が深まります。また、復習の際にも時代の流れの確認のために教科書をしっかりと読み込むようにしましょう。
- ・用語集:一般的には山川出版社の用語集が良いでしょう。しかし、用語集の丸暗記をするような使い方は避けてください。あくまでも知識の幅を広げ、正誤問題など詳細な知識を必要とする設問への対応力を高める、また、歴史事象の展開性を涵養する、など明確な使用目的を持つことが大切です。
- ・図録:教科書同様、学校で使用しているもので構いません。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

①授業で扱った内容の復習

メインテキストを使った復習を徹底しましょう。いきなり細かな知識事項の暗記から始めるのではなく、まずは時代の特色や歴史の流れを把握することに努めてください。そのうえで、授業内で講師が重要であると説明した知識事項を覚えるようにしましょう。歴史用語は実際に手を動かして正しい字で書いて覚えることを心掛けてください。わからない歴史用語については、上記の『日本史用語集』(山川出版社)などを使い、自ら調べることが習慣化させましょう。なお、復習するなかで気付いたこと、感じたことはテキストにメモして残しておき、次回の授業時に講師に質問して新たな歴史的視野の獲得につなげてください。

②『実力をつける日本史100題』

入試問題を想定した問題集です。毎回の授業では課されませんが、ある程度の時代のまとめやテーマが終了したタイミングで課題の指示を出します。上記課題と同じ宿題ノートに解答して丸付けまで行ってください。正答・誤答に関わらず、別冊の解説はしっかりと読み込みましょう。わからない箇所は、次回の授業までに講師かアシスタスタフに質問して疑問点を解消するようにしましょう。

必要時間数は、1講につき30分(解答20分+復習10分)を目安に学習計画に組み込んでください。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
出欠確認 諸伝達 5分	確認テスト 10分	講義 100分		宿題等 伝達 5分

講義が中心となりますが、理解度の確認や思考力を養うため、要所で講師からの発問が組み込まれます。これは、暗記に頼らず歴史的な思考力を養うことを重視するためです。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	単元	内容	確認テスト
3月	①	旧石器時代・縄文時代	原始時代概要・旧石器文化・縄文文化	-
	②	弥生時代①	本格農耕・鉄器・青銅器	旧石器・縄文時代
	③	弥生時代②	小国の分立・大陸交渉	弥生時代①
春期	①	古墳時代①	東アジアとの交渉・古墳文化	-
	②	古墳時代②	ヤマト政権の政治構造	古墳時代①
	③	飛鳥時代①	推古朝～天智朝の政治	古墳時代②
	④	飛鳥時代②	中央集権国家形成過程	飛鳥時代①
4月	①	飛鳥時代③	飛鳥・白鳳文化：仏教伝来とその浸透	-
	②	飛鳥時代④	律令諸制度概要：大宝律令制定とその内容	飛鳥時代③
	③	奈良時代①	元明朝～聖武朝の政治	飛鳥時代④
5月	①	奈良時代②	孝謙朝～光仁朝の政治	月例テスト
	②	奈良時代③	天平文化：国家仏教・鎮護国家思想・建築美術	奈良時代②
	③	総合演習	既習範囲の定着度確認テスト	-
6月	①	平安時代①	桓武朝～淳和朝の政治	月例テスト
	②	平安時代②	摂関政治(仁明朝～冷泉朝)	平安時代①
	③	平安時代③	摂関政治(円融朝～後冷泉朝)・地方政治の混乱	平安時代②
7月	①	平安時代④	荘園制概要・武士の台頭	月例テスト
	②	平安時代⑤	院政・平氏政権	平安時代④
	③	平安時代⑥	平安時代の文化	平安時代⑤
夏期	①	鎌倉時代①	鎌倉幕府成立～執権政治	-
	②	鎌倉時代②	執権政治～幕府の滅亡	鎌倉時代①
	③	鎌倉時代③	社会経済・鎌倉文化	鎌倉時代②
9月	①	室町時代①	建武の新政・南北朝動乱	-
	②	室町時代②	室町幕府の政治機構と応仁の乱	室町時代①
	③	室町時代③	明・朝鮮との交易と琉球・蝦夷地	室町時代②
10月	①	室町時代④	農業と商工業の発達・惣村制の成立と一揆	月例テスト
	②	室町時代⑤	室町文化	室町時代④
	③	室町時代⑥	戦国大名と都市の発達・戦国文化	室町時代⑤
11月	①	安土・桃山時代①	鉄砲とキリスト教の伝来・織田信長の統一事業	月例テスト
	②	安土・桃山時代②	豊臣秀吉の統一事業：過程の概要	安土桃山時代①
	③	安土・桃山時代③	豊臣秀吉の統一事業：兵農分離・朝鮮出兵・安土桃山文化	安土桃山時代②
12月	①	江戸時代①	江戸幕府の成立と幕藩体制	月例テスト
	②	江戸時代②	朝廷・寺社・大名・庶民統制	江戸時代①
	③	総合演習	既習範囲の定着度確認テスト	-
冬期	①	江戸時代③	江戸時代成立過程の復習・江戸初期外交・鎖国	-
	②	江戸時代④	文治政治	江戸時代③
	③	江戸時代⑤	幕政改革(1)：享保の改革・田沼政治	江戸時代④
	④	江戸時代⑥	幕政改革(2)：寛政の改革・大御所時代・天保の改革	江戸時代⑤
1月	①	江戸時代⑦	江戸時代の産業・経済(1)	-
	②	江戸時代⑧	江戸時代の産業・経済(2)	江戸時代⑦
	③	江戸時代⑨	寛永・元禄・化政文化	江戸時代⑧
2月	①	江戸時代⑩	幕府の衰退と列強の接近	月例テスト
	②	江戸時代⑪	開国と幕府の滅亡(1)：開国と条約締結・経済影響	江戸時代⑩
	③	江戸時代⑫	開国と幕府の滅亡(2)：討幕運動と幕府の滅亡	江戸時代⑪

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

高2世界史

対象

大学受験において世界史を必要とする生徒。
世界史の本質を学習することで高校での授業をより深く理解したいと考えている生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

高2から本格的な受験勉強としての世界史に取り組み、1年間で古代～現代(1989年)までの歴史展開の概観を学習します。この講義は、通史的講義ではなく、普遍性をもった歴史展開の仕組みと重要事項同士の因果関係について解説していき世界史の本質的な部分を学習していくものです。各時代の特徴や概観を押さえた後に、発問を通じて文明同士の特徴の比較対照といった難関国公立大学や難関私立大学の入試問題に対応できる視点を養成していきます。高校で学習する用語の説明を主体にした通史的講義と組み合わせることで学習効果がより高まります。1年間で現代までの概観を理解することと思考力・分析力を養うことを目的としています。

【教材】

■ 高2世界史

高2世界史の授業はこのテキストに沿って進められます。このテキストは「講義」部分と知識確認用の「サブノート」から構成されます。「講義」部分は各単元冒頭に図や表、チャート、その単元の概観などが掲載されており、下の欄は講師の板書や口頭での説明をメモするためのものになっています。これらを理解することで歴史展開の仕組みや重要事項同士の因果関係が理解できるため、東大論述などで頻出かつ苦手にする人の多い「抽象化して比較対照する」ような問題にも対処できる土台がつけられます。「サブノート」は高2段階で定着させてほしい知識をまとめてあり、主に自習用ですが講義で用いる場合もあります。

■ 教科書・用語集・図説など

直接、講義では使用しませんが、講義内容をしっかり定着させるためには必要な教材です。原則、高校の授業で使用しているもので構いません。

【宿題】

毎回扱った範囲の以下の内容を行ってください。

- ① テキストの講義部分のインプットを授業を再現できるまで繰り返し行ってください。
- ② テキストのサブノート部分を用いて知識のインプットを可能な限り行ってください。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
出欠確認 諸伝達 5分	講義 [単元の内容について] 110分			宿題等 の伝達 5分

・単元の内容などによって多少の変更がありますので、ご了承ください。・月例テストの回は冒頭で10分のテストを行います。・講習会の際には講義時間に変動があります。

【カリキュラム】

月	回	単元	内容	月例テスト
3月	①	先史時代と古代オリエント①	オリエンテーション、社会・国家の形成要因	-
	②	先史時代と古代オリエント②	古代オリエント世界の特色と展開	-
	③	古代ギリシアとヘレニズム①	古代ヨーロッパの民主政のあり方	-
春期	①	古代ギリシアとヘレニズム②	ギリシアにおけるポリスの発展と衰退	-
	②	古代ギリシアとヘレニズム③	ヘレニズム世界の特色	-
	③	古代ローマ①	都市国家ローマの成立とその特色	-
	④	古代ローマ②	ローマ社会の変質と帝政の開始	-
4月	①	古代イラン／古代インド	パルティアとササン朝、古代インド社会の特色	-
	②	黄河文明～魏晉南北朝①	古代文明と殷周時代、中国王朝の特色	-
	③	黄河文明～魏晉南北朝②	秦漢帝国の盛衰、魏晉南北朝時代の特色	-
5月	①	隋唐・宋・元①	隋唐帝国の盛衰	月例テスト
	②	隋唐・宋・元②	唐宋変革期と北方民族の成長	-
	③	隋唐・宋・元③	モンゴル帝国と元	-
6月	①	古代史の総まとめ	ここまでの授業内容の確認	月例テスト
	②	明清帝国①	明王朝の盛衰と交易の発展	-
	③	明清帝国②	清王朝の繁栄	-
7月	①	イスラーム世界の形成①	イスラーム教の成立と発展	月例テスト
	②	イスラーム世界の形成②	イスラーム史の展開上の特色	-
	③	イスラーム世界の展開	15世紀以降のイスラーム世界	-
夏期	①	中世ヨーロッパの成立と展開①	中世西ヨーロッパ世界の成立過程とその特色	-
	②	中世ヨーロッパの成立と展開②	西ヨーロッパ封建社会の形成	-
	③	中世ヨーロッパの成立と展開③	ビザンツ帝国と東ヨーロッパ世界の特色	-
9月	①	中世ヨーロッパ社会の変質①	十字軍とその影響	-
	②	中世ヨーロッパ社会の変質②	商業ルネサンスと中世都市の発展	-
	③	中世ヨーロッパ社会の変質③	中央集権国家の成立	-
10月	①	近世ヨーロッパ社会の胎動	ルネサンス・大航海時代・宗教改革の相互関係	月例テスト
	②	近世ヨーロッパ①	絶対主義の成立	-
	③	近世ヨーロッパ②	16世紀・17世紀のヨーロッパ世界	-
11月	①	近世ヨーロッパ③	18世紀のヨーロッパ世界	月例テスト
	②	近世ヨーロッパ④	絶対主義国家の植民活動	-
	③	市民革命／産業革命①	イギリス市民革命と産業革命	-
12月	①	市民革命／産業革命②	アメリカ独立とフランス革命	月例テスト
	②	市民革命／産業革命③	ナポレオン時代と市民革命の特色	-
	③	ウィーン体制下のヨーロッパ	ウィーン体制の特色と市民社会への移行	-
冬期	①	19世紀ヨーロッパ諸国の動向	各国の動向と政策の特色	-
	②	アメリカ合衆国の発展	19世紀のアメリカ合衆国の動向	-
	③	植民地化されるアジア	アジア諸国の衰退と植民地支配の特色	-
	④	帝国主義と世界分割	各国の帝国主義政策の特色とアフリカ分割	-
1月	①	第一次世界大戦とロシア革命	第一次世界大戦の性格とロシア革命の展開	-
	②	戦間期の欧米	ヴェルサイユ体制の特色と賠償環の成立	-
	③	アジアの民族運動と戦間期の動向	民族運動の特色とアジア諸国の自立	-
2月	①	世界恐慌と第二次世界大戦	ファシズムの台頭と第二次世界大戦の性格	月例テスト
	②	東西両陣営の対立と冷戦の展開①	冷戦期の世界(1945～1962)	-
	③	東西両陣営の対立と冷戦の展開②	冷戦期の世界(1963～1989)	-

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

高2地理TW

対象

大学入試の選択科目で地理を選択する生徒のうち、特に東大・一橋大などの最難関国公立大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

授業は学習内容の基本的解説から始まり、最難関大学の論述に対応するために必要な思考力・記述力を養成していきます。高2で大学入試範囲の学習を全て完了するので、高3の始めから入試問題演習に取り組むことができ、ライバルに圧倒的な差をつけることができます。最終的には大学入学共通テストで90点以上、かつ国公立2次試験で地理を得点源にできる状態にすることが目標です。単なる知識の暗記にとどまることなく、教科書や資料集に掲載されている地図や統計資料を読み取り考察できるように指導していきます。また、指定教材に繰り返し取り組むことで、正誤にのみこだわるのではなく、正答にたどり着くまでのプロセスを重視した授業が展開されます。

【教材】

■ 地理TW(前期・夏期・後期・冬期)

高2地理の授業はこのテキストに沿って進められます。重要語句のまとめはもちろん、表や図も掲載されている網羅的なテキストですが、授業の際には手元に地図帳とデータブック(出版社は問いません)を必ず用意し、適宜参照しながら授業を受けてください。授業で得た知識を踏まえて季節講習では復習・演習を行うため、高2のうちに東大など最難関大の入試問題で合格点に到達する土台を無理なく作り上げることができます。

使用法

授業:基礎の確認が終了したら問題に取り組めます。解答を直接書き込むのではなく、解答用のノートに1冊用意し、繰り返し反復できるようにしましょう。

復習:授業で扱った範囲は、必ず次の授業までに解きましょう。解説を読んでもわからないものは、次回の授業で質問する姿勢を心がけてください。

■ 実力をつける地理100題

地理は知識事項をただ覚えただけでは点数に結び付きません。獲得した知識をもとに表やグラフを分析しながら良問を解く経験値を積み重ね、はじめて効果的に点数を伸ばすことができるようになります。授業を受けた後にノートを見返してポイントを確認し、その後この問題集を解いて理解の確認と知識定着をはかりましょう。

使用法

復習:担当講師から家庭学習で解くべき範囲の指示が出ますので、それに従い演習・復習を行ってください。

【宿題】

毎回授業で扱った範囲について、以下の作業を行ってください。

- ① 講義内容をノート・ルーズリーフで確認し、重要語句を覚える。
- ② 手元の地図帳やデータブックで教わった知識の位置や周辺情報を確認する。
- ③ テキストの穴埋め部分を即座に答えられるか確認し、間違えたものはできるようになるまで繰り返し復習・確認作業を行う。
- ④ 家庭学習用に課した確認テストの答えをノート・ルーズリーフに書いてください(丸付けまで行うこと)。授業中にチェックします。

※知識のみを覚えるような勉強の仕方だと、地図やグラフを用いた考察問題に対応できなくなり再度覚えなおすことになってしまうので、復習の際にも組み込むことを意識してください。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
出欠確認 諸伝達 5分	講義 110分			宿題等 伝達 5分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	単元	履修内容	月例テスト
3月	①	大地形	成因(内的営力)と地体構造例の理解と知識定着	—
	②	小地形	成因(外的営力)と地形例の理解と知識定着	—
	③	日本の地形	日本の大断層、プレート、日本の地形の特徴の理解と知識定着	—
春期	①	気候	気候記号名の理解、気温・降水量による区分・分布	—
	②	ケッペン気候区分	気候区の特徴の理解と知識定着	—
	③	土壌・植生	成帯・間土壌、気候区と植生の対応、各特長の理解と知識定着	—
	④	自然環境の総復習	自然環境分野の総合確認	—
4月	①	環境問題①	地球環境問題、開発による環境問題	—
	②	環境問題②	新しい(ダイオキシソ、原子力発電など)環境問題会議・条約の理解	—
	③	国家・人種・民族①	国家の3要素、領域、自然的・人為的国境、国家群の理解と知識定着	—
5月	①	国家・人種・民族②	宗教・言語、民族紛争、領土問題、民族問題の理解と知識定着	月例テスト
	②	農業①	農産物の生産・分布、成立条件、農業地域区分の理解と知識定着	—
	③	農業②	農産物の生産・分布、成立条件、農業地域区分の理解と知識定着	—
6月	①	農業の諸問題	日本の地域別農業の特徴、牧畜と環境問題、稲作の理解と知識定着	月例テスト
	②	地誌と問題演習(東アジア)	地誌の理解と問題演習による確認・定着	—
	③	地誌と問題演習(東南アジア)	地誌の理解と問題演習による確認・定着	—
7月	①	地誌と問題演習(南アジア)	地誌の理解と問題演習による確認・定着	月例テスト
	②	地誌と問題演習(西・中央アジア)	地誌の理解と問題演習による確認・定着	—
	③	地誌と問題演習(アフリカ)	地誌の理解と問題演習による確認・定着	—
夏期	①	人口	用語、移動、ピラミッド、三角図表、日本の人口問題、都市人口率など	—
	②	人口の移動	用語、移動、ピラミッド、三角図表、日本の人口問題、都市人口率など	—
	③	都市	構造、都市群、形態、機能、問題、ウォーターフロント開発、政令指定都市	—
9月	①	林業・水産業	植生分類、土壌と植生、木材の用途、主要漁場、海洋新秩序など	—
	②	エネルギー資源①	炭田、ウラン・天然ガス、日本の原油輸入、電力消費など	—
	③	エネルギー資源②	自給率、原子力、環境の理解と知識定着	—
10月	①	鉱業	資源の分布・特徴、鉄鉱石の貿易の理解と知識定着	月例テスト
	②	工業①	工業立地、自動車工業の理解と知識定着	—
	③	工業②	産業集積・国際分業の理解と知識定着、日本の製造業就業数、製造品出荷額	—
11月	①	村落	村落の立地・発達理解と知識定着	月例テスト
	②	交通・通信	交通手段、貿易と交通の理解と知識定着、通信の多様化と課題の理解と知識定着	—
	③	貿易・国際関係①	貿易品目と国名、日本の貿易、貿易と環境問題、中国の産業開発課題など	—
12月	①	貿易・国際関係②	貿易品目と国名、日本の貿易、貿易と環境問題、中国の産業開発課題など	月例テスト
	②	地誌と問題演習(アングロアメリカ)	地誌の理解と問題演習による確認・定着	—
	③	地誌と問題演習(ラテンアメリカ)	地誌の理解と問題演習による確認・定着	—
冬期	①	総合演習	大気の大循環、日本の河川と交通、偏西風、地形図読図など	—
	②	総合演習	サヘル農業、農作物、日本の林業と人口、世界の林産資源、海洋資源など	—
	③	総合演習	エネルギー資源、工業形態と立地、鉄鋼業、村落の形成、小地形など	—
	④	総合演習	ヨーロッパの水上交通、環境と河川、経済ブロックと交通、日本の貿易など	—
1月	①	地誌と問題演習(ヨーロッパ)	地誌の理解と問題演習による確認・定着	—
	②	地誌と問題演習(ロシア・CIS・東欧)	地誌の理解と問題演習による確認・定着	—
	③	地誌と問題演習(オセアニア・太平洋)	地誌の理解と問題演習による確認・定着	—
2月	①	共通テスト対策	過去問演習を含む共通テスト対策を実施	月例テスト
	②	総合演習	1・2学期の復習と発展または入試問題演習	—
	③	総合演習	1・2学期の復習と発展または入試問題演習	—

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

【受講にあたってのご案内】

クラス分け

選抜クラス(TWクラス・Tクラス)に関しては、中1～高1生は「TW/Tクラス選抜試験」、高2生は「東大水準模試」および理科TWクラス選抜試験、高3生は「東大必勝模試」および理社TWクラス選抜試験の結果により受講資格が与えられます。これらの試験は7月と12月に実施され、それぞれ後期(9月～翌年2月)と前期(翌年3月～8月)のクラスを確定します(※)。

SKクラス(1組・2組)・Rクラス(高3のみ)に関しては、必修テストの結果に応じてクラス分けを行います。2月・6月のテストで後期(9月～翌年2月)、9月・11月の必修テストで前期(翌年3月～8月)のクラスを確定します。

※高3「東大必勝模試」は6月・9月の実施です。

月例テスト

解答用紙を実施前月の月末発送物で送付します。対面参加生は送付されたものを月例テスト実施日に持参してください。問題用紙につきましては、対面参加生は授業の際に直接配布、Zoom参加生は早稲田アカデミーOnline内「学習コンテンツ」に公開された問題を見てテストを行います。

いずれの学年も、Zoom参加生は解答用紙を「早稲田アカデミーEAST」アプリを使用して、テスト当日の22時までに提出してください。また、実施後には早稲田アカデミーOnline内「学習コンテンツ」に解答を公開しますので、復習にご活用ください。

採点後の答えは、対面参加生には授業で直接返却し、Zoom参加生は「早稲田アカデミーEAST」での返却および月末(※)の発送物にて送付します。

※「早稲田アカデミーEAST」アプリで提出された答案に関しては、翌月末の発送物での送付となるケースがあります。ご了承ください。

確認テスト

対面参加生は授業の際に直接配布、Zoom参加生は画面共有でテストを行います。

翌月上旬には早稲田アカデミーOnline内「学習コンテンツ」に問題・解答を公開しますので、復習にご活用ください。

早稲田アカデミーEAST(アプリ)

月例テストの解答用紙や英語TW Boosterクラスの課題の提出に使用するアプリです。「早稲田アカデミーEAST」のアプリをダウンロードし、ホームページに掲載されている「スタートアップガイド」に従って解答用紙などの提出を行ってください。

早稲田アカデミーOnline(アプリ)

早稲田アカデミーが提供するさまざまなICTサービスを利用するための、オリジナルポータルサービスです。授業スケジュールの確認、遅刻や欠席の連絡、「双方向Web授業」や「学習コンテンツ」へのアクセスができるほか、各種お申し込みや請求支払い状況の照会などの機能を搭載しています。「お知らせ」には、時間割や保護者会のご案内など、重要なお知らせを配信します。

アプリのインストールおよびアカウント作成についての詳細は、ご入塾の際に配布している案内をご確認ください。

振替制度

同じクラス名の授業を他校舎にて振替出席することが可能です。事前に所属校舎までお申し出ください。校舎によって授業実施曜日が異なりますので、早稲田アカデミーOnlineに掲載されている年間カレンダーにて授業スケジュールをご確認いただき、授業回数が異なってしまわないようご注意ください。

教材の購入方法

テキスト使用予定約1か月前から早稲田アカデミーOnlineにてテキストが購入できるようになります。

購入が必要な時期(※)に「教材のご案内」を配布いたします。購入に必要な各教材の「教材コード」などが記載されておりますので、そちらを参照してご購入いただけます。

また、受講していない講座や、他学年の物などを含め時期が異なる教材の購入も可能です。購入をお考えの教材内容に関しては校舎までお問い合わせください。

※テキストの切り替わる時期に関しては各科目のカリキュラムのページをご確認ください。

サクセスタイムズ(毎月のお知らせ)

毎月の営業日時・休講日・模試・イベント等のご案内は、早稲田アカデミーOnlineに「サクセスタイムズ」を掲載させていただきますのでご確認ください。

ご不明点などございましたら所属校舎までお問い合わせください。

配布物ファイル

お知らせ等の配布物は授業時にクリアファイルに入れて配付いたします。授業中に配付しますので、中身を受け取り後、ファイルを授業担当講師へ返却してください。

授業がZoomでの参加のみ等の理由で直接お渡しできていない方に関しては、当月末の発送物にて送付します。

事務受付時間

通常営業日 平日・土曜 13:00～19:30

講習会期間 9:00～19:00

※日曜日の営業日時や受付時間変更などに関しては、毎月早稲田アカデミーOnlineに掲載される「サクセスタイムズ」をご参照ください。

自習室の利用

通常営業日 平日・土曜 13:00～21:30

講習会期間 8:30～20:00

※利用時間や利用可能日を変更させていただく場合がございます。変更がある場合は、早稲田アカデミーOnlineにてご案内いたします。

SYLLABUS 2026

[高校2年生コース]

 **早稲田アカデミー 大学受験部**